

3 . 航空旅客動態調査を用いた旅客流動分析等

3. 航空旅客動態調査を用いた旅客流動分析等

「平成22年度航空旅客動態調査」実施以降の航空を取り巻く状況変化について、過去の動態調査関係の調査結果や旅客地域流動調査等を踏まえ分析した。

(1) 調査実施状況の変更点

航空旅客動態調査に係る平成22年度調査と平成23年度調査の調査実施日、調査対象、調査内容（調査票）の相違点は以下の通りである。

表-1 平成22年度調査と平成23年度調査の調査実施日・調査対象に係る相違点

		平成22年度調査	平成23年度調査
調査実施日	休日調査	平成22年11月28日(日)	平成23年11月13日(日)
	平日調査	平成22年12月1日(水)	平成21年11月16日(水)
調査対象	航空会社数	21社 ※ANAグループ会社の統合による減少(エアーニッポンネットワーク、エアーセントラル、エアーネクストがANAウィングスに統合された。)	22社 ※JALグループより北海道エアシステム(HAC)が離脱。新日本航空(NJA)が追加された。
	空港数	86空港 ※広島西飛行場が定期路線の廃止に伴い対象外となり、新たに茨城空港が調査対象として追加された。	87空港 ※平成23年7月、佐渡空港が新日本航空(NJA)の運航に利用開始された。
	航空路線数	214路線	211路線

また調査実施において用いた調査票については、前回調査である平成22年度調査から複数の項目に関して変更・修正を行った。次頁以降において、変更箇所及び変更内容について整理したものを示す。

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
調査名 挨拶文	<p>This is a questionnaire survey for domestic air passenger... Only available in Japanese.</p> <p>※記入しないで下さい (調査員記入欄)</p> <p>秘 便名 <input type="text"/></p> <p>航空旅客動態調査票</p> <p>2010年は航空100年</p> <p>国土交通省</p> <p>おくつろぎのところ誠に恐れ入ります。国土交通省では、飛行機を利用して移動されている方の目的や行程を把握し、今後の航空行政を検討する際の基礎資料とするため『航空旅客動態調査』を実施しております。調査は無記名で実施し、調査票の集計は統計的に処理しておりますので、皆様にご迷惑をお掛けすることは一切ございません。 お手数をお掛け致しますが、ご協力をいただきたく、よろしくお願い致します。</p>	<p>秘</p> <p>① 航空旅客動態調査票</p> <p>Travel Survey for Domestic Air Passengers</p> <p>国内航空旅客の旅運統計調査 / 항공여객동태조사</p> <p>国土交通省</p> <p>おくつろぎのところ誠に恐れ入ります。国土交通省では、飛行機を利用して移動されている方の目的や行程を把握し、今後の航空行政を検討する際の基礎資料とするため『航空旅客動態調査』を実施しております。調査は無記名で実施し、調査票の集計は統計的に処理しておりますので、皆様にご迷惑をお掛けすることは一切ございません。 お手数をお掛け致しますが、ご協力をいただきたく、よろしくお願い致します。</p> <p>① Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism is conducting this questionnaire. Thank you for your cooperation. 本調査是由日本国土交通省主持的，我们非常感谢您的合作。 국토교통성에서는 설문조사를 실시하고 있습니다. 협조를 부탁드립니다.</p>
変更理由	<p>①外国人からの回答をし易くするため、外国語による調査名、挨拶文を追加。</p> <p>②本年度は、航空 100 年には該当しないため、記念マークを削除。</p>	

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
注意書 その 1	<p>ご注意下さい</p> <p>◎日帰り旅行の方：行き便でご回答頂いた場合でも、お手数ですがもう1度ご回答下さい。</p> <p>◎ご家族(現住所が同一の方)で旅行されている方：どなたか代表者の方1名がお答え下さい。</p> <p>◎国内線の乗り継ぎを行った方：既に調査にご回答頂いた場合は、お答えにならないで下さい。</p>	<p>※必ずご一読下さい。 ①</p> <p>◎日帰り旅行の方：行き便でご回答頂いた場合でも、お手数ですがもう1度ご回答下さい。 ③</p> <p>◎国内線の乗り継ぎを行った方：既に本日、調査にご協力頂いた場合、ご回答頂く必要はありません。 ②</p> <p>◎ご家族(現住所が同一の方)で旅行されている方：代表者の方1名様だけがお答え下さい。 ④</p>
変更理由	<p>①注意書きが目立つように、表記を変更。</p> <p>②注意項目の順序を変更。</p> <p>③調査日に関する記載がなかったため、“本日”の調査であることを明記。また、文章の簡潔化を行った。</p> <p>④簡潔で注意を引くような文章に変更。</p>	

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
問 1 (問 5)	<p>問 5. あなたの現住所をお答え下さい。</p> <p>1. 出発地と同じ 2. 目的地と同じ 3. どちらでもない</p> <p>「3. どちらでもない」とお答えの方は、現住所をご記入下さい。</p> <p>都道府県 区市郡 区町村</p> <p>※現住所が海外の方は、お住まいの国名をご記入下さい。</p>	<p>問 1. はじめに、あなたの現住所をお答えください。</p> <p>Question 1. Please fill your place of residence. ①</p> <p>问题1. 请填写您的国籍和居住地. 질문 1. 당신의 현주소지를 응답해 주십시오.</p> <p>②</p> <p>住んでいる国 / Country of residence 居住国家 / 거주하는 국가</p> <p>例: 日本 Ex. 中国 / 台湾 / 한국 / USA /</p> <p>現住所 / City of residence 居住城市 / 현주소지</p> <p>(Metropolitan / Prefecture) (省/直轄市/自治区) (특별시/광역시/도)</p> <p>都・道 府・県</p> <p>(City / District) (地区/自治州/地级市) (시/구/군)</p> <p>区・市 郡</p> <p>(Ward / Town / Village) (區 / 鎮級市) (읍/면)</p> <p>区・町 村</p>
変更理由	<p>①現住所の設問において、外国人旅客に配慮し、回答者の住んでいる国名の設問を追加。</p> <p>②外国人にも回答し易くするため、日本語の設問文、回答欄に外国語訳を追加。</p> <p>③設問構成の観点から、現住所に関する設問を前回の問 5 から問 1 に変更。</p>	

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
注意書 その 2 (冒頭文)	<p>This is a questionnaire survey for domestic air passenger. Only available in Japanese. ①</p> <p>※記入しなくてもよい (任意で記入可)</p> <p>秘</p> <p>航空旅客動態調査票</p> <p>2010年は航空100年 1910・2010</p>	<p>次の設問からは日本語のみとなります。引き続きご協力を宜しくお願い致します。</p> <p>Following questions are only available in Japanese. If you don't understand Japanese, you don't need to answer following questions. Thank you for your cooperation. Have a good flight!</p> <p>下面的问题, 不仅为日本提供. 感谢您的合作. 祝你旅行愉快!</p> <p>다음의 질문은 일본어만으로 되어 있습니다. 만약 일본어를 모르시는 경우에는 다음의 질문에 응답해 주실 필요는 없습니다. 좋은 여행 되시기를 바랍니다!</p>
変更理由	<p>①外国語による設問の設置に伴い、前回調査票冒頭部分の“日本語のみの調査票”である旨の文章を変更すると同時に、外国語による設問は問 1 のみであることを明記し、調査への協力感謝の文を追加。</p>	

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
問 2	<p>以下の質問にご回答下さい。選択式の問いは該当する番号に○印をご記入下さい。</p> <p>問1. 今回のご旅行全体についてお答え下さい。</p> <p>問1-1. ご旅行の主な目的をお答え下さい。 ※修学旅行の方は“2. 観光”とお答え下さい。</p> <p>1. 仕事 (または、仕事の帰り) 2. 観光 (または、観光の帰り) 3. 観光以外の私用・帰省 (または、観光以外の私用・帰省の帰り) 4. その他</p> <p>問1-2. ご旅行の全体の日数をお答え下さい。</p> <p>1. 日帰り 2. () 泊 () 日 → 本日の行程は何日目ですか？ () 日目</p>	<p>問2. 今回の旅行全体について、お答え下さい。</p> <p>問2-1. 旅行の主な目的をお答え下さい。</p> <p>1. 仕事 2. 観光 3. 観光以外の私用・帰省 4. その他</p> <p>問2-2. 旅行は「日帰り旅行」と「宿泊を伴う旅行」のどちらでしょうか？また、「宿泊を伴う旅行」をされている方は、旅行の「全体日数」と本日が「何日目」かについてもお答え下さい。</p> <p>1. 日帰り 2. 宿泊を伴う旅行</p> <p>全体日数 <input type="text"/> 泊 <input type="text"/> 日</p> <p>本日の行程 <input type="text"/> 日目</p>
変更理由	<p>①修学旅行中の旅客を対象とした注意書きを削除。</p> <p>②カッコ書きを削除し、選択肢を見やすくなるように配慮。</p>	

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
問 2	<p>問1-3. ご旅行の帰り（または、行き）に、現在と同じルートの航空路線を利用されますか（されましたか）？</p> <p>1. 利用する（または、利用した） 2. 他の航空路線を利用する（または、利用した）</p> <p>3. 他の交通機関を利用する（または、利用した） 4. 転居・赴任等により片道の旅行</p> <p>5. わからない</p> <p>問1-4. 本日は、国際線を利用される予定ですか（または、利用されましたか）？</p> <p>1. 利用しない 2. これから利用する（または、すでに利用した）</p> <p>→ 利用する（利用した）空港をご記入下さい。 <input type="text"/> (国際) 空港</p>	<p>問2-3. 旅行の帰り（または、行き）に、現在と同じルートの航空路線を利用されますか（されましたか）？</p> <p>1. 利用する（利用した） 2. 他の航空路線を利用する（利用した）</p> <p>3. 他の交通機関を利用する（利用した） 4. 転居・赴任等により片道の旅行</p> <p>5. わからない</p> <p>問2-4. 本日は、国際線を利用される予定ですか（または、利用されましたか）？</p> <p>1. 利用しない 2. これから利用する（またはすでに利用した）</p> <p>→ 利用する（利用した）空港をご記入下さい。 <input type="text"/> (国際) 空港</p>
変更理由	変更なし	

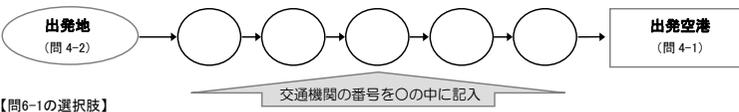
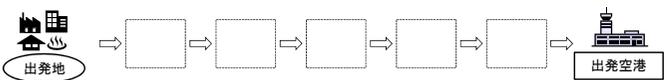
	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
問 2 問 1-5 (問 8) 問 1-6 (問 9)	<p>問 8. 3才以上の同行者の人数をご記入下さい。(ご家族以外も含みます) ※同行者がいない場合は、「0人」とご記入下さい。</p> <input type="text"/> 人	<p>問2-5. 3才以上の同行者の人数をご記入下さい。(ご家族以外も含みます。) ※同行者がいない場合は、「0人」とご記入下さい。</p> <input type="text"/> 人
	<p>問 9. 空港までお見送りの方の人数をご記入下さい。(小学生以上) ※お見送りの方がいない場合は、「0人」とご記入下さい。</p> <input type="text"/> 人	<p>問2-6. 空港までのお見送りの方の人数をご記入下さい。(小学生以上) ※お見送りの方がいない場合は、「0人」とご記入下さい。</p> <input type="text"/> 人
変更理由	①調査票レイアウトの観点や調査票の回答のし易さの観点から、設問の順序を整理し、同行者数や見送り人数を 2 ページ目で回答してもらうように順序の変更を行った。	

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
P. 1 下部	<p>※記入しないで下さい (調査員記入欄)</p> <p>秘</p> <p>氏名 <input type="text"/></p> <p>航空旅客動態調査票</p> <p>2010年は航空100年 1910-2010</p>	<p>①</p> <p>氏名 <input type="text"/></p> <p>※記入しないで下さい (調査員記入欄)</p> <p>質問は裏面に続きます。 </p>
変更理由	①外国語による注意書きを冒頭に設けたことを受け、調査員記入欄をスペースに比較的余裕のある 1 ページ目下部へ移動した。	

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査																																																																											
問 3 (問 3)	<p>問 3. あなたご自身の性別・年齢・職業・年収を下の記入表に番号でご記入下さい。 また同行されているご家族（現住所が同一の方）についてもご記入下さい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>性別</th> <th>年齢</th> <th>職業</th> <th>年収</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1. 男 2. 女</td> <td>1. 14 歳以下 2. 15～19 歳 3. 20～24 歳 4. 25～29 歳 5. 30～34 歳 6. 35～39 歳 7. 40～44 歳 8. 45～49 歳 9. 50～54 歳 10. 55～59 歳 11. 60～64 歳 12. 65～69 歳 13. 70～74 歳 14. 75 歳以上</td> <td>1. 会社役員 2. 会社員 3. 公務員 4. 農林・漁業 5. 商工・自営業 6. 自由業 7. 学生・生徒・児童 8. 無職・その他</td> <td>1. なし 2. 100 万円未満 3. 100～199 万円 4. 200～299 万円 5. 300～399 万円 6. 400～499 万円 7. 500～699 万円 8. 700～999 万円 9. 1,000～1,499 万円 10. 1,500～1,999 万円 11. 2,000 万円以上</td> </tr> <tr> <td>ご本人様</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>家族1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>家族2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>家族3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>家族4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>家族5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>年収(税込み)の設問は、航空ご利用者全体の平均的な年収を把握するためにお聞きしております。 これより航空ご利用者全体の時間に対する価値観(時間価値)を計算し、航空行政の参考とさせていただきます。</p>		性別	年齢	職業	年収		1. 男 2. 女	1. 14 歳以下 2. 15～19 歳 3. 20～24 歳 4. 25～29 歳 5. 30～34 歳 6. 35～39 歳 7. 40～44 歳 8. 45～49 歳 9. 50～54 歳 10. 55～59 歳 11. 60～64 歳 12. 65～69 歳 13. 70～74 歳 14. 75 歳以上	1. 会社役員 2. 会社員 3. 公務員 4. 農林・漁業 5. 商工・自営業 6. 自由業 7. 学生・生徒・児童 8. 無職・その他	1. なし 2. 100 万円未満 3. 100～199 万円 4. 200～299 万円 5. 300～399 万円 6. 400～499 万円 7. 500～699 万円 8. 700～999 万円 9. 1,000～1,499 万円 10. 1,500～1,999 万円 11. 2,000 万円以上	ご本人様					家族1					家族2					家族3					家族4					家族5					<p>② 問3. 個人属性についてお伺いします。</p> <p>③ ご自身の性別・年齢・職業・年収を右の記入表に番号でご記入下さい。 また、同行されているご家族(現住所が同一の方)についてもご記入下さい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ご本人</th> <th>家族1</th> <th>家族2</th> <th>家族3</th> <th>家族4</th> <th>家族5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>性別</td> <td>1. 男 2. 女</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年齢</td> <td>1. 14歳以下 2. 15～19歳 3. 20～24歳 4. 25～29歳 5. 30～34歳 6. 35～39歳 7. 40～44歳 8. 45～49歳 9. 50～54歳 10. 55～59歳 11. 60～64歳 12. 65～69歳 13. 70～74歳 14. 75歳以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>職業</td> <td>1. 会社役員 2. 会社員 3. 公務員 4. 農林・漁業 5. 商工・自営業 6. 自由業 7. 学生・生徒・児童 8. 無職・その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年収</td> <td>1. なし 2. 100万円未満 3. 100～199万円 4. 200～299万円 5. 300～399万円 6. 400～499万円 7. 500～699万円 8. 700～999万円 9. 1,000～1,499万円 10. 1,500～1,999万円 11. 2,000万円以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 当設問は、旅客の平均的な年収を算出することにより、航空利用者全体の時間に対する価値観(時間価値)を計算し、航空行政の参考とするためにお聞きしています。</p>		ご本人	家族1	家族2	家族3	家族4	家族5	性別	1. 男 2. 女						年齢	1. 14歳以下 2. 15～19歳 3. 20～24歳 4. 25～29歳 5. 30～34歳 6. 35～39歳 7. 40～44歳 8. 45～49歳 9. 50～54歳 10. 55～59歳 11. 60～64歳 12. 65～69歳 13. 70～74歳 14. 75歳以上						職業	1. 会社役員 2. 会社員 3. 公務員 4. 農林・漁業 5. 商工・自営業 6. 自由業 7. 学生・生徒・児童 8. 無職・その他						年収	1. なし 2. 100万円未満 3. 100～199万円 4. 200～299万円 5. 300～399万円 6. 400～499万円 7. 500～699万円 8. 700～999万円 9. 1,000～1,499万円 10. 1,500～1,999万円 11. 2,000万円以上					
	性別	年齢	職業	年収																																																																									
	1. 男 2. 女	1. 14 歳以下 2. 15～19 歳 3. 20～24 歳 4. 25～29 歳 5. 30～34 歳 6. 35～39 歳 7. 40～44 歳 8. 45～49 歳 9. 50～54 歳 10. 55～59 歳 11. 60～64 歳 12. 65～69 歳 13. 70～74 歳 14. 75 歳以上	1. 会社役員 2. 会社員 3. 公務員 4. 農林・漁業 5. 商工・自営業 6. 自由業 7. 学生・生徒・児童 8. 無職・その他	1. なし 2. 100 万円未満 3. 100～199 万円 4. 200～299 万円 5. 300～399 万円 6. 400～499 万円 7. 500～699 万円 8. 700～999 万円 9. 1,000～1,499 万円 10. 1,500～1,999 万円 11. 2,000 万円以上																																																																									
ご本人様																																																																													
家族1																																																																													
家族2																																																																													
家族3																																																																													
家族4																																																																													
家族5																																																																													
	ご本人	家族1	家族2	家族3	家族4	家族5																																																																							
性別	1. 男 2. 女																																																																												
年齢	1. 14歳以下 2. 15～19歳 3. 20～24歳 4. 25～29歳 5. 30～34歳 6. 35～39歳 7. 40～44歳 8. 45～49歳 9. 50～54歳 10. 55～59歳 11. 60～64歳 12. 65～69歳 13. 70～74歳 14. 75歳以上																																																																												
職業	1. 会社役員 2. 会社員 3. 公務員 4. 農林・漁業 5. 商工・自営業 6. 自由業 7. 学生・生徒・児童 8. 無職・その他																																																																												
年収	1. なし 2. 100万円未満 3. 100～199万円 4. 200～299万円 5. 300～399万円 6. 400～499万円 7. 500～699万円 8. 700～999万円 9. 1,000～1,499万円 10. 1,500～1,999万円 11. 2,000万円以上																																																																												
変更理由	<p>①列方向に設問、行方向に家族欄を設ける回答欄に形状を変更。</p> <p>②当設問が個人属性に関する設問であることを明記。</p> <p>③“あなた”の文言を削除し、記入表の形状変更に伴った文言に変更。</p> <p>④年収に関する質問は、回答者に抵抗感与える可能性があることから、理解を得られるよう、わかり易い文章に変更。</p>																																																																												

平成 22 年度調査		平成 23 年度調査	
問 4 (問 4)	<p>問 4. 現在の行程についてお答え下さい。</p> <p>■お伺いしたい行程のイメージ</p> <p>※出張・旅行からお帰りの方は、仕事先・宿泊地が出発地</p> <p>※出張・旅行からお帰りの方は、ご自宅等が目的地</p> <p>※問 10 でお答え下さい</p>	<p>問 4. 現在の行程についてお答え下さい。</p> <p>① ※日帰りの出張・旅行の方は、現在の行程が往路の場合には用務先を目的地(問 4-5)としてお答え下さい。また現在の行程が復路の場合には用務先を出発地(問 4-1)としてお答え下さい。</p> <p>②</p> <p>※出張・旅行からお帰りの方は、仕事先・宿泊地が出発地</p> <p>※出張・旅行からお帰りの方は、ご自宅等が目的地</p> <p>利用区間・便名 航空券の種類</p>	<p>変更理由</p> <p>①日帰り旅客は、自宅⇒用務先⇒自宅のようなラウンドトリップの旅程が予想されるため、回答時における混乱や誤解を避けるために、回答方法の説明を追加。</p> <p>②設問番号や設問構成の変更に伴い、イメージ図内に記載された設問番号を対応するものに変更。</p>

平成 22 年度調査		平成 23 年度調査						
問 3 問 4-1 (問 4-2)	<p>問 4-2. 出発空港へはどちらからいらっしゃいましたか？ 出発地 をご記入下さい。</p> <table border="1"> <tr> <td>都道府県</td> <td>区市郡</td> <td>区町村</td> </tr> </table> <p>※地名等が分からない場合は、目印となる駅名、ホテル名、観光地名などをご記入下さい。 海外の場合は国名をご記入下さい。</p> <p>問 4-3. 本日の 目的地 をご記入下さい。</p> <table border="1"> <tr> <td>都道府県</td> <td>※目的地は問 4-5</td> </tr> </table>	都道府県	区市郡	区町村	都道府県	※目的地は問 4-5	<p>問 4-1. 現在の行程の出発地が、現住所(問 1)の場合は□にレ印を、それ以外の場合は 住所をお答え下さい。②</p> <p>現住所が出発地である <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>海外不明 <input type="checkbox"/> 住所が不明、特定できない場合は、近くの駅名やホテル、観光地名などをご記入下さい。 <input type="checkbox"/> 出発地が海外の方は国名をご記入下さい。</p> <p>①</p>	<p>変更理由</p> <p>①設問順序を変更し、先に現住所を回答して頂く順番としたことに伴い、回答者の記入の負担を軽減するために回答欄形状の変更を行った。</p> <p>②回答欄の形状を変更したことから、設問文を対応したものに変更。</p>
都道府県	区市郡	区町村						
都道府県	※目的地は問 4-5							

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査																																					
問 4 問 4-2-1 (問 6-1 ・問 6-5)	<p>問 6. 出発地 から 出発空港 までの行程をお答え下さい。</p> <p>本日、国際線を利用された方へ <small>※本日、出発空港で国際線から直接乗り継いだ方は、問7にお進み下さい。 ※出発空港以外の空港で国際線を利用した方は、国際線到着空港から出発空港までの行程をお答え下さい。 (例えば、成田空港→羽田空港、関西空港→伊丹空港)</small></p> <p>問6-1. 出発地から出発空港までの交通機関をご利用の順に○内に番号をご記入下さい。</p>  <p>【問6-1の選択肢】</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 新幹線</td> <td>2. JR特急(新幹線除く)</td> <td>3. JR在来線(新幹線・特急除く)</td> </tr> <tr> <td>4. 私鉄・地下鉄</td> <td>5. モノレール</td> <td>6. 空港直行バス・都庁バス</td> </tr> <tr> <td>7. 貸切バス・観光バス</td> <td>8. 市内バス・市内電車</td> <td>9. タクシー・ハイヤー</td> </tr> <tr> <td>10. 自家用車、社用・公用車</td> <td>11. レンタカー</td> <td>12. 船</td> </tr> <tr> <td>13. その他</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>問6-5. (出発空港まで自家用車、または社用・公用車で来られた方のみお答え下さい) お車を現在どのようにされているかお答え下さい。</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 車は空港内の駐車場に置いてきた。</td> </tr> <tr> <td>2. 車は空港外の近くの駐車場に置いてきた。</td> </tr> <tr> <td>3. 車は同乗者が乗って帰った。</td> </tr> </table>	1. 新幹線	2. JR特急(新幹線除く)	3. JR在来線(新幹線・特急除く)	4. 私鉄・地下鉄	5. モノレール	6. 空港直行バス・都庁バス	7. 貸切バス・観光バス	8. 市内バス・市内電車	9. タクシー・ハイヤー	10. 自家用車、社用・公用車	11. レンタカー	12. 船	13. その他			1. 車は空港内の駐車場に置いてきた。	2. 車は空港外の近くの駐車場に置いてきた。	3. 車は同乗者が乗って帰った。	<p>①</p> <p>問4-2-1. この飛行機に搭乗した空港までに利用した交通機関を順番に番号でご記入下さい。</p> <p>本日、国際線を利用された方へ <small>※本日、出発空港で国際線から直接乗り継いだ方は、問4-3にお進み下さい。 ※出発空港以外の空港で国際線を利用した方は、国際線到着空港から出発空港までの行程をお答え下さい。 (例えば、成田空港→羽田空港、関西空港→伊丹空港)</small></p>  <p>②</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 新幹線</td> <td>2. JR特急(新幹線除く)</td> <td>3. JR在来線(新幹線・特急除く)</td> <td>4. 私鉄・地下鉄</td> </tr> <tr> <td>5. モノレール</td> <td>6. 空港直行バス^{※1}</td> <td>7. 高速バス^{※2}(空港直行以外)</td> <td>8. 貸切バス</td> </tr> <tr> <td>9. 路線バス・市内電車</td> <td>10. タクシー・ハイヤー</td> <td>11. 自家用車、社用・公用車</td> <td>12. レンタカー</td> </tr> <tr> <td>13. 船</td> <td>14. その他(徒歩・自転車等)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><small>※1: 主要駅等から空港まで運行するバス(例: 東京駅～成田空港) ※2: 主要都市間を高速道路を利用して運行するバス(例: 大塚駅～東京駅)</small></p> <p>自家用車、社用・公用車をご利用になった方のみお答え下さい</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 車は空港内の駐車場に停めている。</td> </tr> <tr> <td>2. 車は空港外の近くの駐車場に停めている。</td> </tr> <tr> <td>3. 車は同乗者が乗って帰った。</td> </tr> </table> <p>③</p>	1. 新幹線	2. JR特急(新幹線除く)	3. JR在来線(新幹線・特急除く)	4. 私鉄・地下鉄	5. モノレール	6. 空港直行バス ^{※1}	7. 高速バス ^{※2} (空港直行以外)	8. 貸切バス	9. 路線バス・市内電車	10. タクシー・ハイヤー	11. 自家用車、社用・公用車	12. レンタカー	13. 船	14. その他(徒歩・自転車等)			1. 車は空港内の駐車場に停めている。	2. 車は空港外の近くの駐車場に停めている。	3. 車は同乗者が乗って帰った。
1. 新幹線	2. JR特急(新幹線除く)	3. JR在来線(新幹線・特急除く)																																					
4. 私鉄・地下鉄	5. モノレール	6. 空港直行バス・都庁バス																																					
7. 貸切バス・観光バス	8. 市内バス・市内電車	9. タクシー・ハイヤー																																					
10. 自家用車、社用・公用車	11. レンタカー	12. 船																																					
13. その他																																							
1. 車は空港内の駐車場に置いてきた。																																							
2. 車は空港外の近くの駐車場に置いてきた。																																							
3. 車は同乗者が乗って帰った。																																							
1. 新幹線	2. JR特急(新幹線除く)	3. JR在来線(新幹線・特急除く)	4. 私鉄・地下鉄																																				
5. モノレール	6. 空港直行バス ^{※1}	7. 高速バス ^{※2} (空港直行以外)	8. 貸切バス																																				
9. 路線バス・市内電車	10. タクシー・ハイヤー	11. 自家用車、社用・公用車	12. レンタカー																																				
13. 船	14. その他(徒歩・自転車等)																																						
1. 車は空港内の駐車場に停めている。																																							
2. 車は空港外の近くの駐車場に停めている。																																							
3. 車は同乗者が乗って帰った。																																							
変更理由	<p>①設問文を変更し、“現在搭乗中の航空機の出発空港”へのアクセス手段を質問していることを明記した。</p> <p>★②欄外にその他で高速バスとの記載が多かったことから、バス交通の選択肢を細分化した。また、回答者の誤回答を避けるために、空港直行バスと高速バスに関する注意書きを追加した。</p> <p>③自動車の留置状況に関する設問を見直し、よりわかり易い設問文・選択肢に改めた。</p>																																						

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
問 4 問 4-2-2 (問 6-2)	問6-2. 出発地から出発空港までの所要時間をお答え下さい。 1. 30分以内 3. 1時間1分～1時間30分 5. 1時間1分～2時間30分 7. 3時間1分以上 2. 31分～1時間 4. 1時間31分～2時間 6. 2時間31分～3時間	① 問4-2-2. 出発空港までの所要時間をお答え下さい。 1. 30分以内 5. 2時間1分～2時間30分 2. 31分～1時間 6. 2時間31分～3時間 3. 1時間1分～1時間30分 7. 3時間1分以上 4. 1時間31分～2時間
問 4-2-3 (問 6-3)	問6-3. 出発地から出発空港までの交通費はおいくらですか？ 1. 1,000円以下 3. 2,001～3,000円 5. 4,001～5,000円 7. 10,001円以上 2. 1,001～2,000円 4. 3,001～4,000円 6. 5,001～10,000円	② 問4-2-3. 出発空港までの交通費をお答え下さい。 1. 1,000円以下 5. 4,001～5,000円 2. 1,001～2,000円 6. 5,001～10,000円 3. 2,001～3,000円 7. 10,001円以上 4. 3,001～4,000円
問 4-2-4 (問 6-4)	問6-4. 出発空港に着いたのは、飛行機の出発予定時刻の何時間何分前ですか？ 時間 <input type="text"/> 分前 <input type="text"/>	問4-2-4. 出発空港に着いたのは、飛行機の出発予定時刻の何時間何分前ですか？ 時間 <input type="text"/> 分前 <input type="text"/>
変更理由	①問3を出発地から目的地までの一連の旅客流動を質問する順序としたため、「出発地」の文言を削除した。 ②①と同様の理由により「出発地」の文言を削除。	

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査												
問 4 問 4-3-1 (問 4-1 問 2-1 問 2-2)	問 4-1. 現在お乗りになっている飛行機の <input type="text"/> 出発空港 <input type="text"/> 及び <input type="text"/> 到着空港 <input type="text"/> をご記入下さい。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center;">(出発空港) <input type="text"/> 空港</div> <div style="margin: 0 20px;">   </div> <div style="text-align: center;">(到着空港) <input type="text"/> 空港</div> </div> <small>※本日、目的地までに国内線を乗り継ぐ場合は、乗り継ぎ先の空港を問 10 でお答え下さい。</small> 問2. 航空券についてお答え下さい。 問2-1. 現在お乗りになっている飛行機の航空券の種類をお答え下さい。また、その具体的な運賃をご記入下さい。 1. 普通片道運賃 2. 往復割引 3. 回数券 4. マイレージ 5. 乗継ぎ割引 6. その他割引運賃 (特定便割引・事前購入割引・シルバー割引・スカイメイト 等) 7. 団体運賃・パッケージツアー等 具体的な航空運賃又はパッケージツアー料金をご記入下さい。 <input type="text"/> 円 問2-2. 現在お乗りになっている飛行機の座席の種類をお答え下さい。 1. 普通席 2. 普通席以外の座席 (例:ファーストクラス・クラスJ【JAL】、プレミアムクラス【ANA】)	② 問4-3-1. 現在、ご搭乗されている便の航空券についてお答え下さい。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>搭乗区間</th> <th>航空券の種類</th> <th>座席の種類</th> <th>航空運賃・ツアー料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【記入例】 出発空港 <input type="text"/> 福岡 <input type="text"/> 空港 到着空港 <input type="text"/> 羽田 <input type="text"/> 空港</td> <td>【選択肢】 1. 普通運賃 2. 往復割引 3. 回数券 4. マイレージ特典 5. 乗継ぎ割引 6. その他割引運賃 7. 団体運賃・パッケージツアー等</td> <td>【選択肢】 1. 普通席 2. 普通席以外 <small>※ファーストクラス・クラスJ【JAL】、プレミアムクラス【ANA】など</small></td> <td>【記入上の注意】 乗継ぎ割引、ツアー等で区間毎の航空運賃が分らない場合は、合計金額(全区間合計の航空運賃・パッケージツアーの料金等)を記入し、さらに<input type="text"/>にレ印を記入。</td> </tr> <tr> <td>出発空港 <input type="text"/> 空港 到着空港 <input type="text"/> 空港</td> <td>番号をご記入下さい <input type="text"/></td> <td>番号をご記入下さい <input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円/人 → 合計金額 <input type="text"/></td> </tr> </tbody> </table> ①	搭乗区間	航空券の種類	座席の種類	航空運賃・ツアー料金	【記入例】 出発空港 <input type="text"/> 福岡 <input type="text"/> 空港 到着空港 <input type="text"/> 羽田 <input type="text"/> 空港	【選択肢】 1. 普通運賃 2. 往復割引 3. 回数券 4. マイレージ特典 5. 乗継ぎ割引 6. その他割引運賃 7. 団体運賃・パッケージツアー等	【選択肢】 1. 普通席 2. 普通席以外 <small>※ファーストクラス・クラスJ【JAL】、プレミアムクラス【ANA】など</small>	【記入上の注意】 乗継ぎ割引、ツアー等で区間毎の航空運賃が分らない場合は、合計金額(全区間合計の航空運賃・パッケージツアーの料金等)を記入し、さらに <input type="text"/> にレ印を記入。	出発空港 <input type="text"/> 空港 到着空港 <input type="text"/> 空港	番号をご記入下さい <input type="text"/>	番号をご記入下さい <input type="text"/>	<input type="text"/> 円/人 → 合計金額 <input type="text"/>
搭乗区間	航空券の種類	座席の種類	航空運賃・ツアー料金											
【記入例】 出発空港 <input type="text"/> 福岡 <input type="text"/> 空港 到着空港 <input type="text"/> 羽田 <input type="text"/> 空港	【選択肢】 1. 普通運賃 2. 往復割引 3. 回数券 4. マイレージ特典 5. 乗継ぎ割引 6. その他割引運賃 7. 団体運賃・パッケージツアー等	【選択肢】 1. 普通席 2. 普通席以外 <small>※ファーストクラス・クラスJ【JAL】、プレミアムクラス【ANA】など</small>	【記入上の注意】 乗継ぎ割引、ツアー等で区間毎の航空運賃が分らない場合は、合計金額(全区間合計の航空運賃・パッケージツアーの料金等)を記入し、さらに <input type="text"/> にレ印を記入。											
出発空港 <input type="text"/> 空港 到着空港 <input type="text"/> 空港	番号をご記入下さい <input type="text"/>	番号をご記入下さい <input type="text"/>	<input type="text"/> 円/人 → 合計金額 <input type="text"/>											
変更理由	①調査票の限られた紙面を有効に利用する為、複数の設問をまとめて質問できるよう、表形式の設問形状に変更を行った。 ②設問形状の変更に対応した設問文に変更を行った。													

平成 22 年度調査		平成 23 年度調査	
問 4 問 4-3-2 (問 10)	<p>本日、目的地までに国内線を乗り継ぐ方にお聞きます。</p> <p>問10. 本日、目的地 までに国内線を乗り継ぐ場合は、乗り継ぎ先の空港を順番にご記入下さい。</p> <p>乗り継ぎと考える場合の例</p> <p>◆福岡空港 → 羽田空港 → 新千歳空港 (福岡空港 → 羽田空港 の区間において本調査を受けられた場合、上記回答欄には“新千歳”とご記入下さい。)</p> <p>※飛行機を乗り換えるために以下の空港間を移動する場合も『国内線を乗り継ぐ』とお考え下さい。</p> <p>◆羽田空港 ⇄ 成田空港 ◆伊丹空港 ⇄ 関西空港 ⇄ 神戸空港 ⇄ 伊丹空港 ◆中部空港 ⇄ 名古屋小牧空港 ◆新千歳空港 ⇄ 丘珠空港</p>	<p>問4-3-2. 本日、到着空港から目的地までに国内線を乗り継ぐ場合は、乗り継ぎ先の空港を順番にご記入下さい。</p> <p>①</p> <p>② 乗り継ぎの例について</p> <p>◆福岡空港 → 羽田空港 → 新千歳空港 と乗り継ぐ場合、 (福岡空港 → 羽田空港 の区間において本調査を受けられた場合、“乗り継ぎ先空港：その①”に“新千歳”とご記入下さい。)</p> <p>※飛行機を乗り換えるために以下の空港間を移動する方も『国内線を乗り継ぐ』とお考え下さい。</p> <p>◆羽田空港 ⇄ 成田空港 ◆伊丹空港 ⇄ 関西空港 ⇄ 神戸空港 ⇄ 伊丹空港 ◆中部空港 ⇄ 名古屋小牧空港 ◆新千歳空港 ⇄ 丘珠空港</p>	<p>変更理由</p> <p>①乗り継ぎのイメージをわかってもらうため、挿絵を加えた回答欄へ様式を変更。 ②回答欄の様式の変更に対応し、乗り継ぎに関する説明文を変更。</p>

平成 22 年度調査		平成 23 年度調査																															
問 4 問 4-4 (問 7)	<p>問 7. 到着空港 から 目的地 までの交通機関をご利用予定の順に○内に番号をご記入下さい。</p> <p>(本日、国内線を乗り継ぐ方は、国内線の最終到着空港から目的地までにご利用予定の交通機関をご記入下さい。)</p> <p>本日、国際線を利用される方へ</p> <p>※本日、到着空港で直接国際線に乗り継ぐ方は、問8にお進み下さい。 ※到着空港以外の空港で国際線を利用される方は、到着空港から国際線出発空港までの行程をお答え下さい。 (例えば、羽田空港→成田空港、伊丹空港→関西空港)</p> <p>※本日、国内線を乗り継ぐ方は、国内線の最終到着空港</p> <p>交通機関の番号を○の中に記入</p> <p>【問7の選択肢】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 新幹線</td> <td>2. JR特急(新幹線を除く)</td> <td>3. JR在来線(新幹線・特急除く)</td> </tr> <tr> <td>4. 私鉄・地下鉄</td> <td>5. モノレール</td> <td>6. 空港直行バス・都府県バス</td> </tr> <tr> <td>7. 貸切バス・観光バス</td> <td>8. 市営バス・市内電車</td> <td>9. タクシー・ハイヤー</td> </tr> <tr> <td>10. 自家用車・社用・公用車</td> <td>11. レンタカー</td> <td>12. 船</td> </tr> <tr> <td>13. その他</td> <td>14. わからない</td> <td></td> </tr> </table>	1. 新幹線	2. JR特急(新幹線を除く)	3. JR在来線(新幹線・特急除く)	4. 私鉄・地下鉄	5. モノレール	6. 空港直行バス・都府県バス	7. 貸切バス・観光バス	8. 市営バス・市内電車	9. タクシー・ハイヤー	10. 自家用車・社用・公用車	11. レンタカー	12. 船	13. その他	14. わからない		<p>問4-4. 到着空港から目的地までの交通機関をご利用予定の順に番号でご記入下さい。</p> <p>(本日、国内線を乗り継ぐ方は、国内線の最終到着空港から目的地までにご利用予定の交通機関をご記入下さい。)</p> <p>本日、国際線を利用される方へ</p> <p>※本日、到着空港で直接国際線に乗り継ぐ方は、問4-5にお進み下さい。 ※到着空港以外の空港で国際線を利用される方は、到着空港から国際線出発空港までの行程をお答え下さい。 (例えば、羽田空港→成田空港、伊丹空港→関西空港)</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 新幹線</td> <td>2. JR特急(新幹線除く)</td> <td>3. JR在来線(新幹線・特急除く)</td> <td>4. 私鉄・地下鉄</td> <td>5. モノレール</td> </tr> <tr> <td>6. 空港直行バス※1</td> <td>7. 高速バス※2(空港直行以外)</td> <td>8. 貸切バス</td> <td>9. 路線バス・市内電車</td> <td>10. タクシー・ハイヤー</td> </tr> <tr> <td>11. 自家用車・社用・公用車</td> <td>12. レンタカー</td> <td>13. 船</td> <td>14. その他(徒歩・自転車等)</td> <td>15. 分からない</td> </tr> </table> <p>※1: 主要駅等から空港まで運行するバス(例: 東京駅→成田空港) ※2: 主要都市間を高速道路を利用して運行するバス(例: 大阪駅→東京駅)</p>	1. 新幹線	2. JR特急(新幹線除く)	3. JR在来線(新幹線・特急除く)	4. 私鉄・地下鉄	5. モノレール	6. 空港直行バス※1	7. 高速バス※2(空港直行以外)	8. 貸切バス	9. 路線バス・市内電車	10. タクシー・ハイヤー	11. 自家用車・社用・公用車	12. レンタカー	13. 船	14. その他(徒歩・自転車等)	15. 分からない	<p>変更理由</p> <p>①回答欄形状を○から□形状に変更したことから、設問文を対応したものに変更。 ②回答者のイメージを補助する為に、回答欄に挿絵を設けた。 ★③問 4-2-1 の空港アクセス交通機関と同様に、バス交通に関する選択肢を整理し説明文を追加した。</p>
1. 新幹線	2. JR特急(新幹線を除く)	3. JR在来線(新幹線・特急除く)																															
4. 私鉄・地下鉄	5. モノレール	6. 空港直行バス・都府県バス																															
7. 貸切バス・観光バス	8. 市営バス・市内電車	9. タクシー・ハイヤー																															
10. 自家用車・社用・公用車	11. レンタカー	12. 船																															
13. その他	14. わからない																																
1. 新幹線	2. JR特急(新幹線除く)	3. JR在来線(新幹線・特急除く)	4. 私鉄・地下鉄	5. モノレール																													
6. 空港直行バス※1	7. 高速バス※2(空港直行以外)	8. 貸切バス	9. 路線バス・市内電車	10. タクシー・ハイヤー																													
11. 自家用車・社用・公用車	12. レンタカー	13. 船	14. その他(徒歩・自転車等)	15. 分からない																													

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
問 4 問 4-5 (問 4-3)	<p>問 4-2. 出発空港へはどちらからいらっしゃいましたか？（出発地）をご記入下さい。</p> <p>※出発地は問 4-1</p> <p>※地名等が分からない場合は、目印となる駅名、ホテル名、観光地名などをご記入下さい。 海外の場合は国名をご記入下さい。</p> <p>問 4-3. 本日の（目的地）をご記入下さい。</p> <p>都道府県 区市郡 区町村</p>	<p>問4-5. 現在の行程の目的地が、現住所（問 1）の場合は口にし印を、それ以外の場合は住所をお答え下さい。 ②</p> <p>現住所が目的地である → はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/></p> <p>都道府県 区市郡 区町村</p> <p>海外不明 → 住所が不明、特定できない場合は、近くの駅名やホテル、観光地名などをご記入下さい。 ・出発地が海外の方は国名をご記入下さい。</p> <p>①</p>
変更理由	<p>①設問順序を変更し、先に現住所を回答して頂く順番としたことに伴い、回答者の記入の負担を軽減するために回答欄形状の変更を行った。</p> <p>②回答欄の形状を変更したことから、設問文を対応したものに変更。</p>	

	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
P. 4 最下部	<p>ご協力ありがとうございました。</p>	<p>ご協力ありがとうございました。良い空の旅をお過ごしください。 ①</p>
変更理由	<p>①協力を感謝する文章に、さらに回答者の空の旅が楽しいものであることを願う文章を追加し、調査への協力が過度のストレスとならないよう、配慮をした。</p>	

前回:平成 22 年度調査 今回:平成 23 年度調査

設問の
順序

設問内容	今回 H.23	前回 H.22
居住国・現住所(※外国語含む)	問1	問5
旅行目的	問2-1	問1-1
旅行日数	問2-2	問1-2
往路(復路)の経路	問2-3	問1-3
国際線利用の有無	問2-4	問1-4
同行者数	問2-5	問8
見送り人数	問2-6	問9
個人(家族)属性	問3	問3
出発地	問4-1	問4-2
アクセス手段	問4-2-1	問6-1
駐車場利用の有無	問4-2-1	問6-5
アクセス所要時間	問4-2-2	問6-2
アクセス費用	問4-2-3	問6-3
空港滞留時間	問4-2-4	問6-4
座席の種類	問4-3-1	問2-2
出発空港・到着空港	問4-3-1	問4-1
航空券の種類	問4-3-1	問2-1
乗継空港	問4-3-2	問10
イグレス手段	問4-4	問7
目的地	問4-5	問4-3

変更
理由

上記の表のとおり、平成 22 年度調査から一部の設問の順序変更を行った。

(2) 航空を取り巻く状況の変化

1) 航空路線

平成23年度航空旅客動態調査では調査日に運航していた211路線を対象に調査を実施した。平成22年度調査と比べ17路線が休止・廃止となった一方で、14路線が新たに調査対象として加わった。

休止・廃止となった路線は、中京圏の中部空港・小牧空港や関西圏の伊丹空港と地方を結ぶ計9路線のほか、地方路線である北海道内の4路線が廃止されている。

開設された路線は地方路線が多く、北海道圏を結ぶ5路線のほか、屋久島等の離島を結ぶ3路線となっている。その他では、新日本航空の参入に伴い、新潟-佐渡路線が新たに開設されている。

表-2 路線の休廃止・開設状況

<p>廃止 (17路線)</p>	<p>羽田-紋別 伊丹-石見 伊丹-大館能代 伊丹-佐賀 函館-旭川 函館-釧路 新千歳-利尻 新千歳-旭川 中部-米子 中部-徳島 小牧-秋田 小牧-新潟 小牧-高知 小牧-松山 静岡-熊本 静岡-小松 静岡-松本</p>
<p>新規路線 (14路線)</p>	<p>成田-旭川 神戸-長崎 丘珠-女満別 新千歳-紋別 新千歳-茨城 丘珠-利尻 新潟-佐渡 小牧-青森 小牧-花巻 松山-那覇 福岡-奄美 福岡-屋久島 沖永良部-徳之島 那覇-徳之島</p>

2) 航空運賃

国内の普通航空運賃は、燃油価格の高騰の影響を受けて値上がり傾向にあり、平成20年秋の世界金融危機の影響による旅客需要の低迷、航空会社の収支悪化等により、燃油価格が急落した後も普通航空運賃は上昇が続いていた。しかし、平成23年10月時点での主要路線の普通運賃を比較すると、平成22年度の同月と変化しておらず、普通運賃は高止まりの状態となっている。

割引運賃について羽田－広島路線を例にみると、一部の便で9%程度の値上げが確認できたが、平均割引率は平成22年調査時と同じ43%となっており、全体的な傾向としては変わっていない。

このことから、平成23年度調査における航空運賃は、平成22年度と比較して大きな変化がなかったといえる。

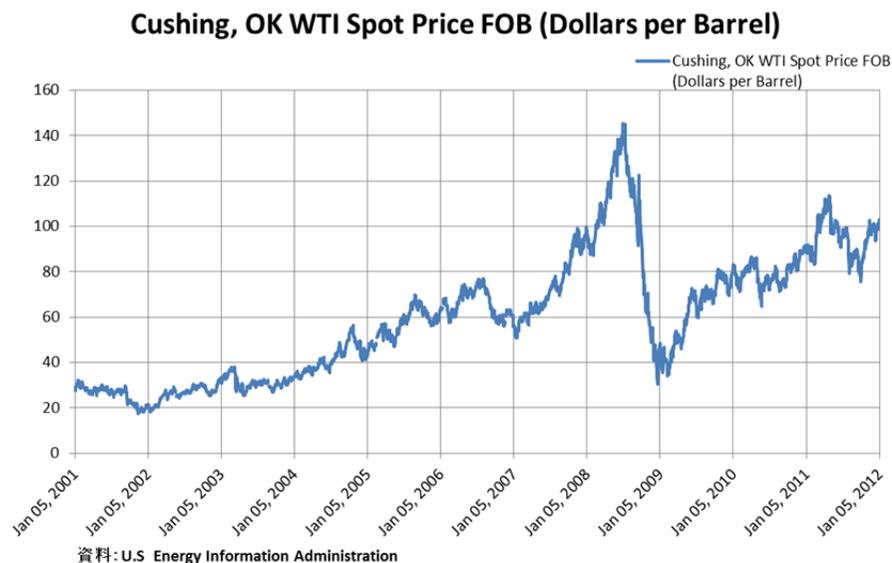


図-2 原油価格の推移

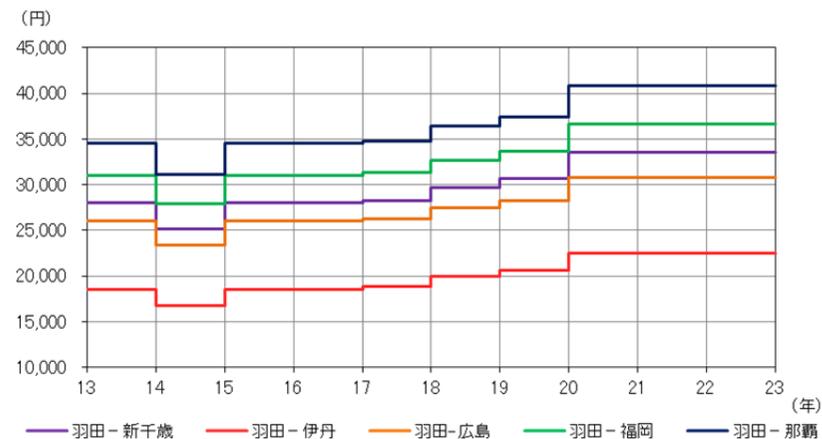


図-1 羽田空港主要路線の普通運賃（大手航空会社）

表-3 羽田－広島路線の割引運賃の変化（日本航空の例）

	平成22年10月		平成23年10月		増減額	増減率
	普通運賃	割引率	普通運賃	割引率		
普通運賃	¥ 30,800		¥ 30,800			
往復割引	¥ 27,200	12%	¥ 27,200	12%		
特便割引1						
1601	¥ 14,000	55%	¥ 14,000	55%		
1603	¥ 19,000	38%	¥ 19,300	37%	¥ 300	2%
1605	¥ 19,300	37%	¥ 19,300	37%		
1607			¥ 18,000	42%		
1609			¥ 16,000	48%		
1611	¥ 16,000	48%	¥ 16,000	48%		
1613			¥ 19,000	38%		
1615	¥ 19,000	38%	¥ 19,300	37%	¥ 300	2%
1619	¥ 19,000	38%				
1600	¥ 14,000	55%	¥ 14,500	53%	¥ 500	4%
1602	¥ 19,000	38%	¥ 19,300	37%	¥ 300	2%
1604			¥ 16,000	48%		
1606	¥ 16,000	48%	¥ 16,000	48%		
1608			¥ 17,000	45%		
1610			¥ 18,500	40%		
1612	¥ 17,000	45%	¥ 18,500	40%	¥ 1,500	9%
1614			¥ 18,500	40%		
1616	¥ 18,000	42%				
1620	¥ 19,300	37%				
平均		43%		43%		

資料: 日本航空時刻表

(3) 調査結果の動向分析

平成 19 年度調査から平成 23 年度調査までの航空を取り巻く状況変化等を踏まえ、以下の項目について航空旅客の動向分析を行った。

分析項目

- ① 旅客特性
- ② 航空機の出発時間帯別における旅客特性
- ③ 空港における利用交通手段に係る動向分析
- ④ 東日本大震災に関わる東北地方の旅客状況
*仙台空港の利用率、アクセス・イグレス状況

分析データは平成 19・21・22・23 年度航空旅客動態調査の平日・休日データを利用し、平日、休日別の集計に加えて、週間平均についても集計を行った。週間平均の値は、1 週間のうち平日を 5 日、休日を 2 日と想定して下式を使って求めた値である。

$$\frac{\text{平日サンプル数} \times 5 \text{日} + \text{休日サンプル数} \times 2 \text{日}}{7 \text{日}}$$

なお、航空旅客動態調査は調査実施日が平日 1 日、休日 1 日であることや、調査年度によって調査実施日が異なることにより、旅客動向の経年変化の分析に当たっては、調査日における特異性（団体旅客等による影響）や季節性に留意する必要がある。

表-4 航空旅客動態調査実施日

	平成 19 年度調査	平成 21 年度調査	平成 22 年度調査	平成 23 年度調査
平日	11 月 14 日(水)	10 月 21 日(水)	12 月 1 日(水)	11 月 16 日(水)
休日	11 月 11 日(日)	10 月 18 日(日)	11 月 28 日(日)	11 月 13 日(日)

① 旅客特性

航空旅客の旅客特性への影響分析するため、以下の8項目について集計を行った。

集計項目のうち、年齢、年収、旅行日数、割引率の集計は下表に示す各選択肢の“集計値”に基づき、平均年齢、平均年収、平均旅行日数、平均割引率を算出した。集計値は、原則として各選択肢の中間値とし、旅行日数については総旅行日数とした。なお、中間値の設定できない最小値や最大値については、その選択肢の値を採用した。

また、現住所地の集計では人口データ（総務省統計局）を用いて、現住所地毎の1日における人口1,000人当たりの回答者数を算出した。

旅客特性に係る集計項目

- | | | | |
|---------|----------|----------|-------------|
| i) 性別 | ii) 職業 | iii) 年齢 | iv) 年収 |
| v) 旅行目的 | vi) 旅行日数 | vii) 現住所 | viii) 利用航空券 |

集計項目のうち、平均年齢、平均年収、平均旅行日数、平均割引率を算出のために設定した集計値は以下のとおりである。なお、年齢の選択肢のうち平成19年度調査より65歳以上の区分が、65～69歳、70～74歳、75歳以上の3つの選択肢に細分化されている。

表-5 年齢・年収・旅行日数・割引率の集計値

年齢		集計値
選択肢		
平成17年度	平成19年度以降	
14歳以下	14歳以下	7歳
15～19歳	15～19歳	17歳
20～24歳	20～24歳	22歳
25～29歳	25～29歳	27歳
30～34歳	30～34歳	32歳
35～39歳	35～39歳	37歳
40～44歳	40～44歳	42歳
45～49歳	45～49歳	47歳
50～54歳	50～54歳	52歳
55～59歳	55～59歳	57歳
60～64歳	60～64歳	62歳
65歳以上	65～69歳	67歳
	70～74歳	72歳
	75歳以上	75歳

年収	
選択肢	集計値
なし	0万円
100万円未満	50万円
100～199万円	150万円
200～299万円	250万円
300～399万円	350万円
400～499万円	450万円
500～699万円	600万円
700～999万円	850万円
1,000～1,499万円	1,250万円
1,500～1,999万円	1,750万円
2,000万円以上	2,000万円

旅行日数	
選択肢	集計値
日帰り	1日
1泊2日	2日
2泊3日	3日
3泊4日	4日
4泊5日以上	5日

割引率	
選択肢	集計値
10%未満	5%
11～20%	15%
21～30%	25%
31～40%	35%
41～50%	45%
51～60%	55%
61%以上	61%

i) 性別

平成 23 年度の性別比（週間平均）による性別比は、男性 64%、女性 36%となっており、男性が女性に比べて多くなっている。

平日と休日の比較では、休日は平日に比べ、女性の割合が 14%高くなっている。

経年的にみても男女の構成比に大きな差は見られないが、平日の男性利用客は平成 21 年度から上昇の傾向が見られる。

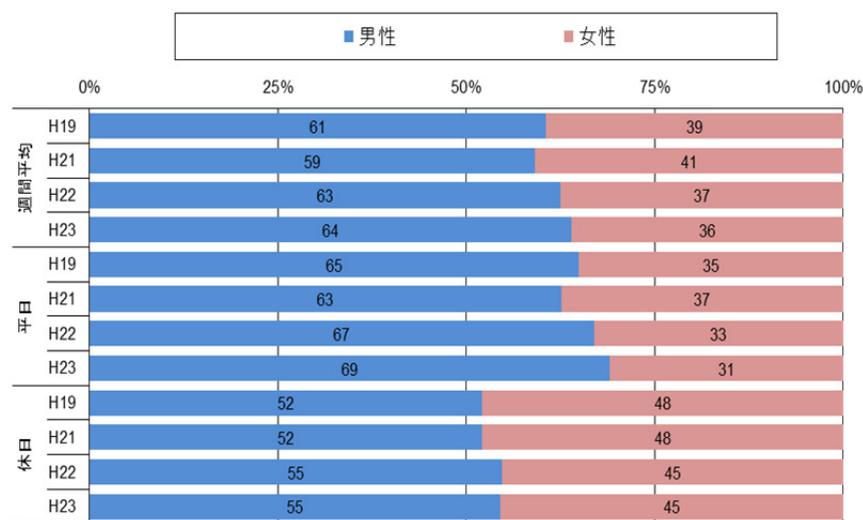


図-3 性別

ii) 職業

平成 23 年度の職業構成（週間平均）は、会社員の割合が 46%で最も高く、次いで、無職・その他の割合が 22%で高い。

平日と休日の比較では、休日において無職・その他（平日 20%、休日 26%）や学生・生徒（平日 4%、休日 7%）の割合が増え、会社役員と会社員の割合が低くなっている。

経年的にみると、平成 22 年度に比べて学生・生徒の割合が低くなっているが、構成比率が大きく変化した職業は見られない。

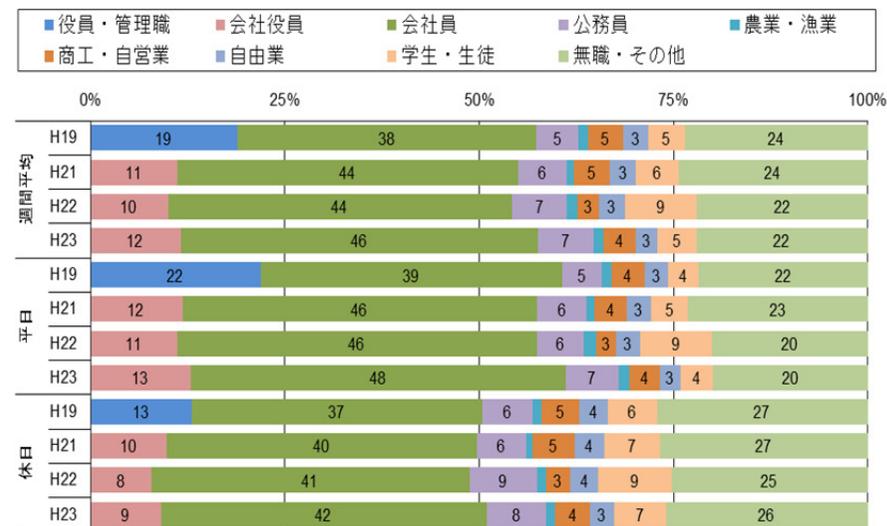


図-4 職業

iii) 年齢

平成 23 年度の平均年齢（週間平均）は 45.8 歳となっており、年代別の構成比は、40 歳代と 50 歳代が 22%と最も高く、次いで 30 歳代が 19%となっている。

平日と休日の比較では、平日において 40 歳代と 50 歳代の割合が増え（平日 46%、休日 41%）、平日は休日と比べて平均年齢が高くなっている。

経年的にみても、30 歳代の旅客が増加する一方、20 歳代以下の年齢層の旅客数が減少し、平均年齢が上昇する結果になっている。

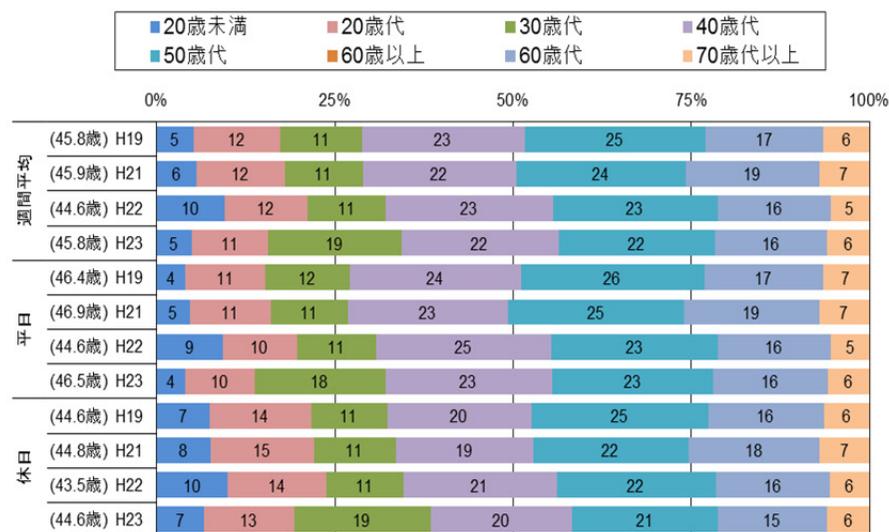


図-5 年齢

iv) 年収

平成 23 年度の平均年収（週間平均）は 599 万円となっており、年収別にみると、400～700 万円未満の割合が 24%で最も高く、次いで 200～400 万円未満と 1,000 万円以上の旅客が 18%となっている。

平日と休日を比較すると、平日において年収 700 万円以上の割合が増えており（平日 39%、休日 26%）、平日は休日と比べて平均年収が 120 万円程度高くなっている。

経年的にみると、平成 19 年度以降、平均年収額は減少し横ばいを示していたが、平成 23 年度調査では、平成 19 年度調査時にまで上昇する結果となっている。

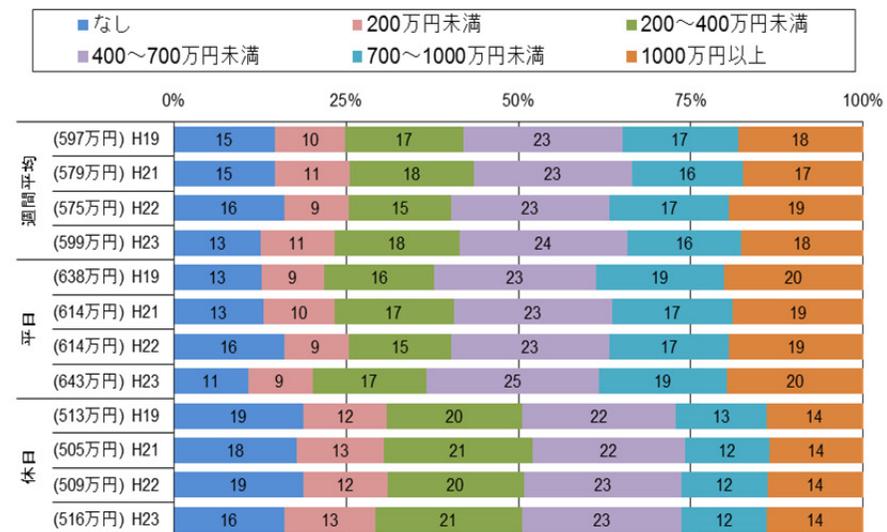


図-6 年収

v) 旅行目的

平成23年度の旅行目的（週間平均）は、仕事47%、観光29%となっており、仕事目的の旅客が観光目的に比べ多くなっている。

平日と休日では旅行目的の傾向が異なり、平日では仕事目的の割合が高い一方で、休日には観光目的、私用目的の割合が多くなっている。

経年的にみると、観光目的での利用が減少傾向にあり、対して仕事目的の割合が年々増加している傾向がみられる。

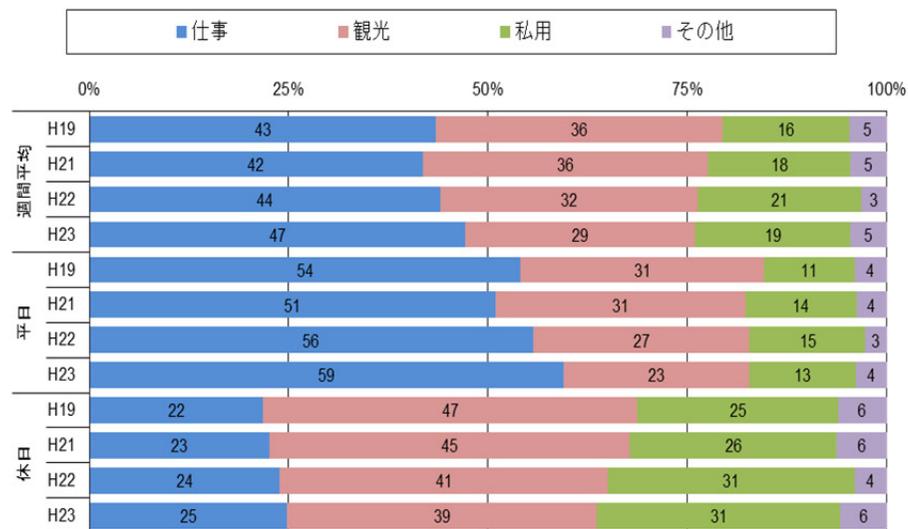


図-7 旅行目的

vi) 旅行日数

平成23年度の平均旅行日数（週間平均）は、2.9日となっている。旅行日数別（週間平均）でみると、2泊3日の割合が32%で最も高く、次いで1泊2日の割合が30%となっている。

平日と休日の比較では、平日は日帰りの割合が高くなる一方で、休日は平日と比べて、2泊3日の旅行の割合が高くなっている。

経年的にみると、平成23年度調査でも、1泊2日と2泊3日の旅行日数の構成比が高くなっており、全体的な構成比率に大きな変化は見られない。

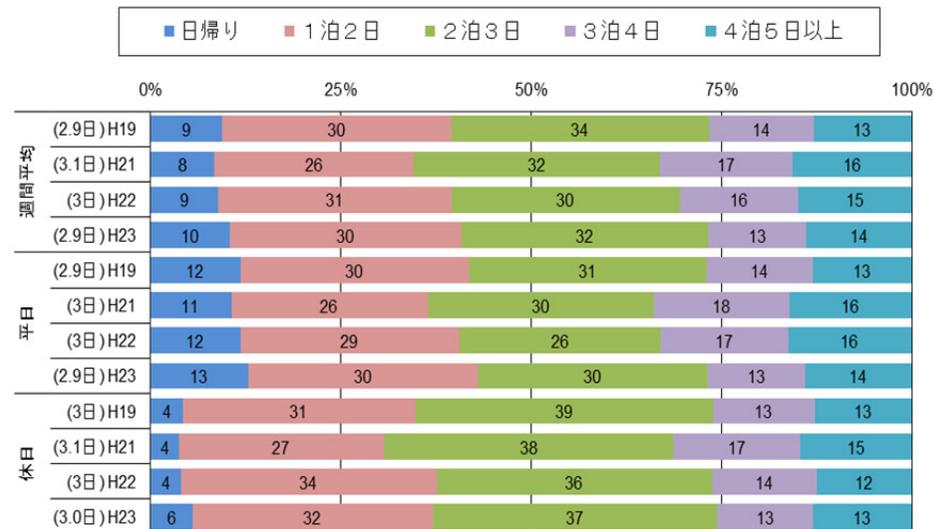


図-8 旅行日数

vii) 現住所地

週間平均による回答者の現住所地は、関東地方の割合が35%で最も高く、次いで九州地方が17%、近畿地方が13%の順で高くなっている。また、平日と休日の比較、経年的にみても構成比率に大きな変化はみられない。

現住所地別の回答者数と人口データ（総務省総務局）を用いて、地方別に人口1,000人当たりの回答者数を算出したところ、平成23年度の週間平均では、人口1,000人当たりの回答者数は全国平均において1.0人となった。地方別では、沖縄地方が3.7人と最も多く、最も低いのは中部地方の0.4人であった。

経年的みると、回収票数が減少した平成22年度調査（全国平均：0.8人）に比べて、全体的に上昇しているが、中部地方、東北地方、中国地方、近畿地方は、例年どおり全国平均を下回る結果となっている。



図-9 回答者の現住所地別構成比

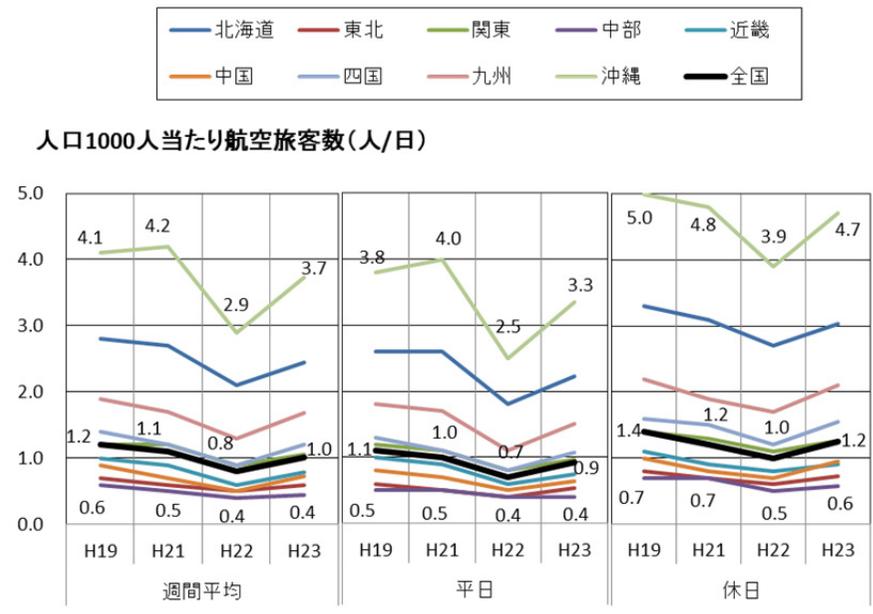


図-10 1日における人口1,000人当たりの回答者数

viii) 利用航空券の種類

平成 23 年度の週間平均では、その他割引が 32%で最も高く、次いで団体・パックの割合 (25%)、普通運賃 (19%)、往復割引 (16%) が続く。その他割引とは、特定便割引、事前購入割引、シニア/シルバー割引等の割引運賃である。また平成 22 年度調査からは、新たに乗継割引の項目を追加しており、乗継割引を利用したとする回答者は全体の約 1%となった。平日と休日を比較すると、平日では予約変更可能である普通運賃、往復割引、回数券の利用の割合が高くなる一方、休日においては団体・パックやマイレージを利用した航空券が増加する傾向がみられた。経年変化としては、団体・パック料金の回答が減少する傾向にあるほか、その他割引の利用が伸びている。また、例年横ばいであった普通運賃の利用が伸びている半面、H22 年度調査では高かった往復割引が減少して、平成 21 年度調査時の水準に回帰するという結果が出ている。

次に、その他割引の割引率 (大手航空会社の普通運賃に対する割引率) をみると、平成 23 年度の平均割引率は 44%となっている。平日と休日を比較すると、平日に比べ休日の 61%以上の割引運賃の回答が 5%高くなっていることから、平均割引率において、休日が 4%程大きくなっている。

経年的にみると、20%以下の金額の割引率の割合はおおむね減少傾向にあるが、41%以上の金額の割合は上昇傾向にある。

なお、今回調査では回答者に対して、“利用航空券の航空運賃またはパッケージツアー料金” の回答を求める形式に質問文を変更しており、記載された金額にはツアー料金が含まれている可能性があることに留意する必要がある。

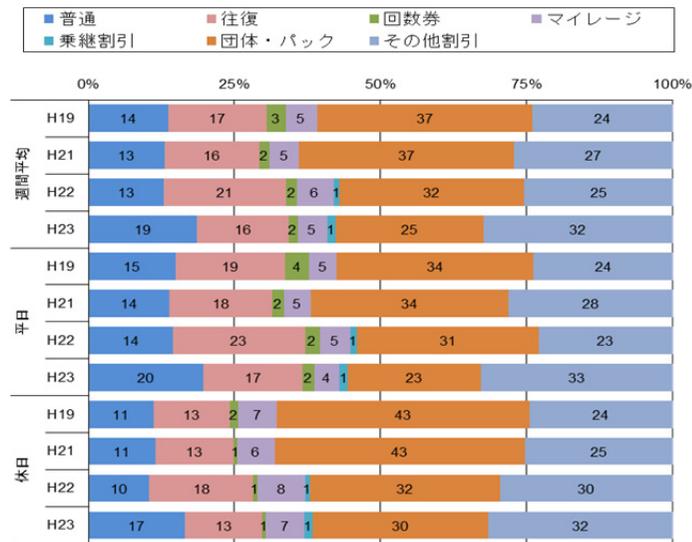


図-11 利用航空券の種類

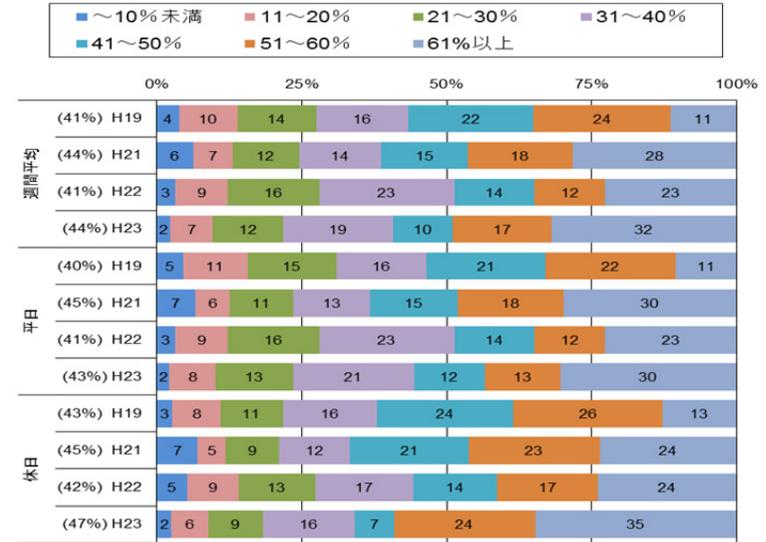


図-12 その他の割引の割引率の内訳

② 空港における利用交通手段に係る動向分析

空港における最終アクセス手段と最初イグレス手段を合計し集計したものを“利用交通手段”として、平成 19・21・22・23 年度調査のデータによる比較分析を行った。なお、分析対象空港は、軌道系交通手段（JR、私鉄・地下鉄、モノレール）の乗り入れのある 11 空港としている。

平成 23 年度調査における対象 11 空港の軌道系交通手段の利用状況をみると、羽田空港が 58%で最も高く、仙台空港が 11%で最も低い割合となっている。

なお、集計した数値は、最終アクセス手段の旅客数と最初イグレス交通手段の回答数を合計した値である。また、利用交通手段の集計項目は表 - 6 の様に設定しており、JR 特急、JR 在来線は JR、船・ホバークラフト（平成 23 年度時点でホバークラフトの運航実績はない）と市内バスはその他として集約し、対象空港の利用交通手段にない新幹線、わからない及び不明の各項目は集計から外している。

表-6 利用交通手段の集計項目

選択肢項目	集計項目
JR特急	JR
JR在来線	
私鉄・地下鉄	私鉄・地下鉄
モノレール	モノレール
空港直行バス・都市間バス	空港バス
貸切バス・観光バス	観光バス
自家用車、社用・公用車	自家用車
タクシー・ハイヤー	タクシー・ハイヤー
レンタカー	レンタカー
市内バス・市内電車	その他
船・ホバークラフト	
その他	
新幹線	対象外
わからない	
不明	

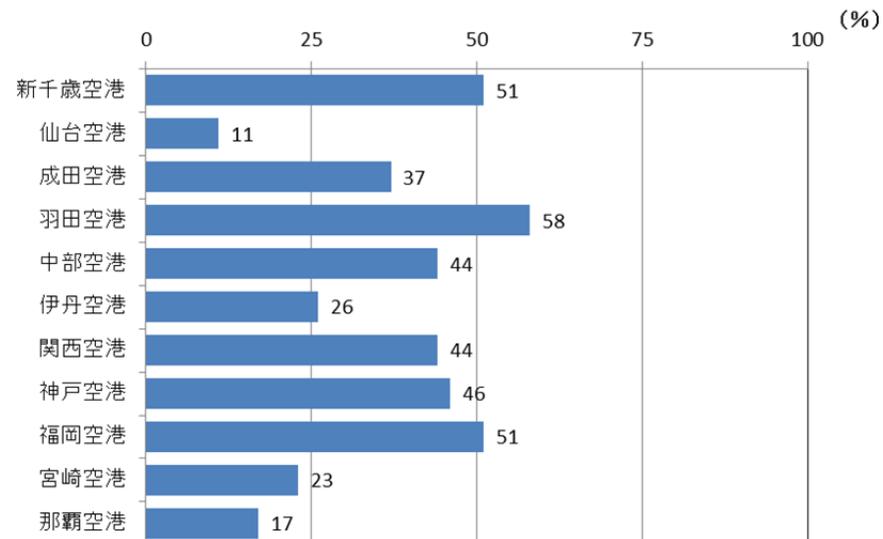


図-13 軌道系交通手段の利用割合（週間平均）

i) 新千歳空港

平成 23 年度の新千歳空港の利用交通手段（週間平均）は、JR の利用が 51%と最も多く、次いで自家用車の 22%、空港バスの 11%となっている。

平日と休日を比較すると、休日は平日に比べて自家用車や観光バスの割合が高くなる傾向にあり、平成 23 年度における構成比をみると、自家用車は平日 21%、休日 25%、観光バスは平日 5%、休日 8%となっている。一方、JR の割合は平日 54%、休日 46%と低くなる傾向となっている。

経年的にみると、JR 利用や自家用車利用が前回調査時と同様に高い傾向を示している。

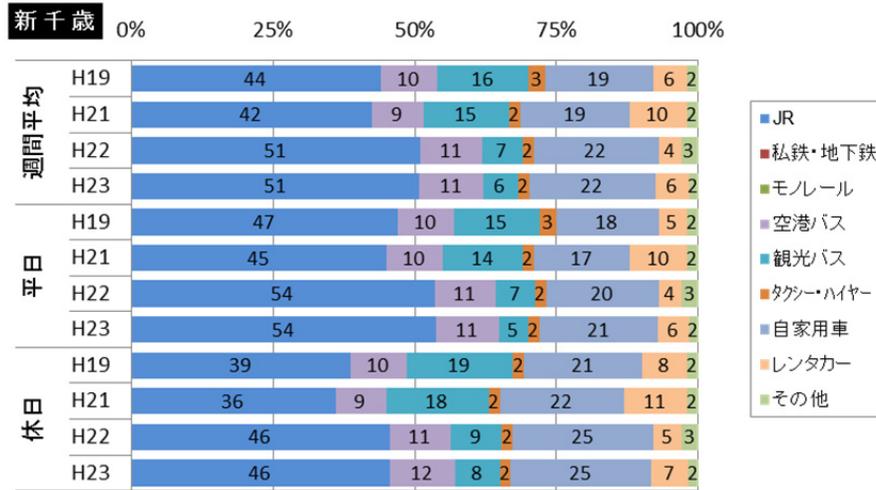


図-14 利用交通手段の構成比（新千歳空港）

ii) 仙台空港

仙台空港における平成 23 年度の調査結果は、過去 3 回の調査に比べて特異な結果が出ており、これは東日本大震災の影響によるものと留意する必要がある。

平成 19 年 3 月の仙台空港アクセス鉄道開業以降、鉄道によるアクセス利用率は増加を続けていたが、平成 23 年度調査では平成 22 年度に比べ大きく減少（週間平均：27%減）し、自家用車の利用が大幅に増加（週間平均：15%増）する結果となっている。平日と休日においても同様な傾向を示している。

震災により被害のあった仙台空港アクセス鉄道は、同年 10 月 1 日に全線運行を再開したが、復興支援の施策として高速道路の無料化が実施されたことにより、調査時においても鉄道利用率が大きく低下したものと推測される。

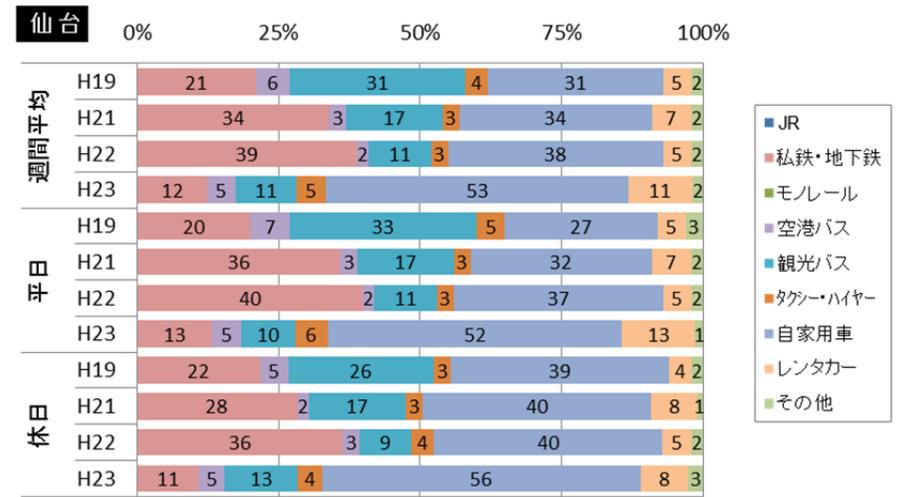


図-15 利用交通手段の構成比（仙台空港）

iii) 成田空港

平成23年度の成田空港の利用交通手段（週間平均）は、私鉄・地下鉄の利用が23%と最も多く、次いで自家用車の22%、空港バスの15%となっている。

平日と休日の構成比率に大幅な変化は見られない。

経年的にみると、平成23年度調査では、平成22年7月に開業した成田スカイアクセス線による、私鉄・地下鉄やJR利用の構成比が大きく増加する傾向を示している。

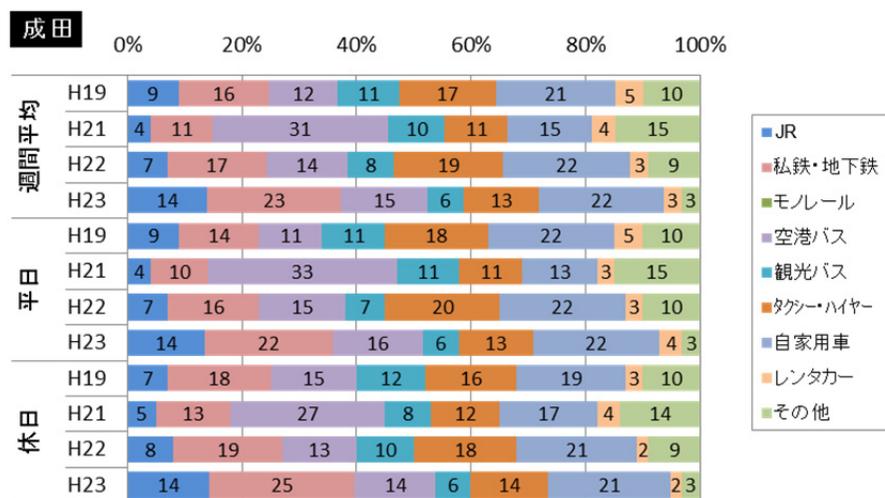


図-16 利用交通手段の構成比（成田空港）

iv) 羽田空港

羽田空港の平成23年度の利用交通手段（週間平均）は、軌道系交通であるモノレール（29%）と私鉄・地下鉄（29%）が主に利用されており、以下、空港バス（21%）、自家用車（13%）が続いている。

平日と休日の構成比の違いとしては、休日は自家用車利用の比率が増え、私鉄・地下鉄、モノレールの軌道交通の利用率が減少する傾向を示している。

経年的にみると、平成23年度調査では観光バスの利用が前回調査と比べて半減する結果となっている。

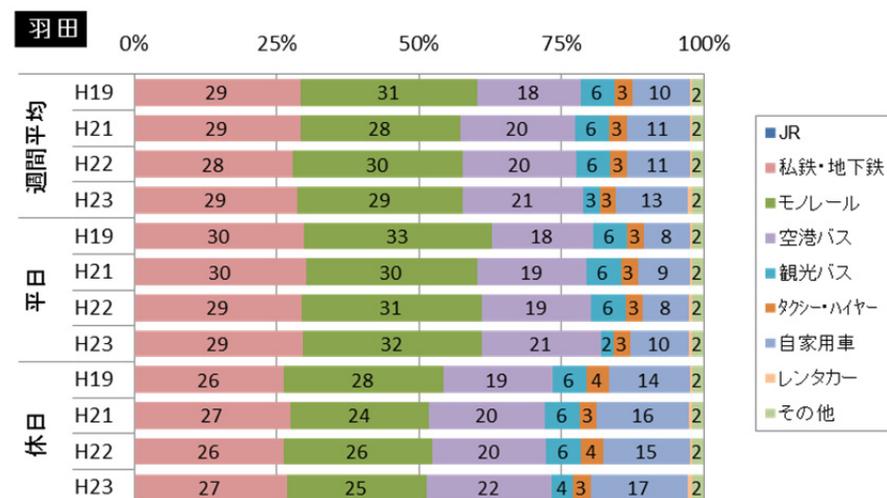


図-17 利用交通手段の構成比（羽田空港）

v) 中部空港

平成 23 年度の中部空港の利用交通手段（週間平均）は、私鉄・地下鉄の利用が 44%と最も多く、次いで自家用車の 29%、観光バスの 10%となっている。

平日と休日を比較すると、休日は自家用車比率が高くなる一方、平日には私鉄・地下鉄と観光バス比率が高くなる傾向を示している。

経年的傾向を 4 回分の調査結果で比較して見ると、構成比に大きな変化は見られない。

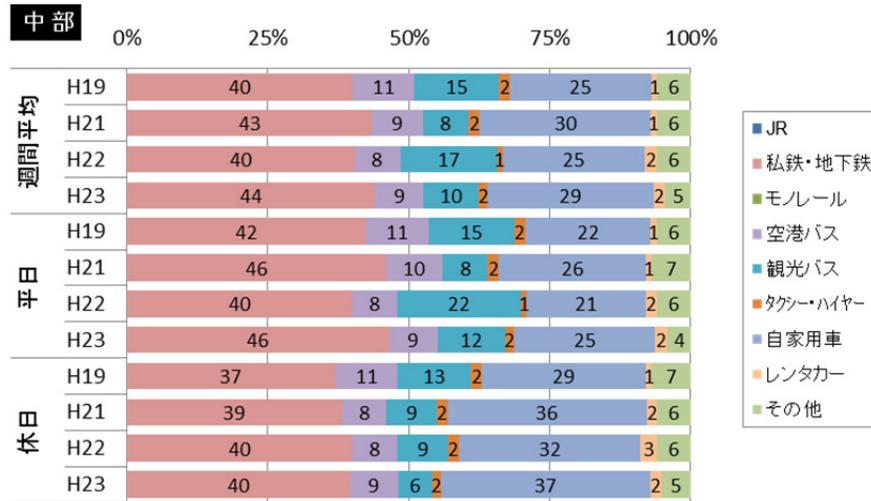


図-18 利用交通手段の構成比（中部空港）

vi) 伊丹空港

平成 23 年度の伊丹空港の利用交通手段（週間平均）は、空港バスの利用が 38%と最も多く、次いでモノレールの 26%、自家用車の 17%となっている。

平日と休日を比較すると、休日の自家用車比率は平日よりも 7%程度高くなる一方、モノレール比率は 6%程度低い結果となっている。

経年的にみると、構成比に大きな変化は見られないが、平成 23 年度調査では観光バス比率が減少傾向を示している。

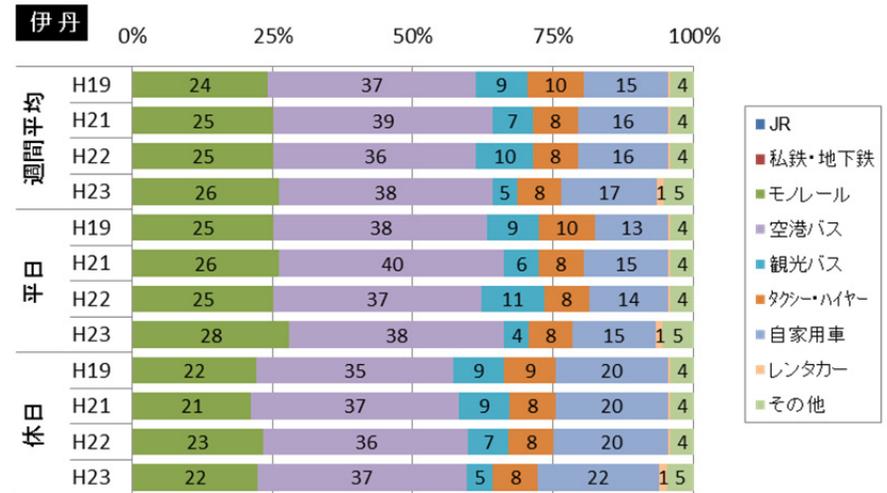


図-19 利用交通手段の構成比（伊丹空港）

vii) 関西空港

平成 23 年度の関西空港の利用交通手段（週間平均）は、JR の利用が 26% と最も多く、次いで空港バスの 25%、私鉄・地下鉄と自家用車の利用が共に 18% となっている。また、軌道系交通手段として見た場合、JR と私鉄・地下鉄を合わせた比率は 44% となる。

休日は平日よりも自家用車の利用比率が高まる一方、軌道系交通の利用比率は減少傾向を示している。

経年的にみると、空港バスの利用比率が増加傾向であるのに比べて、私鉄・地下鉄の利用比率は減少傾向となっている。

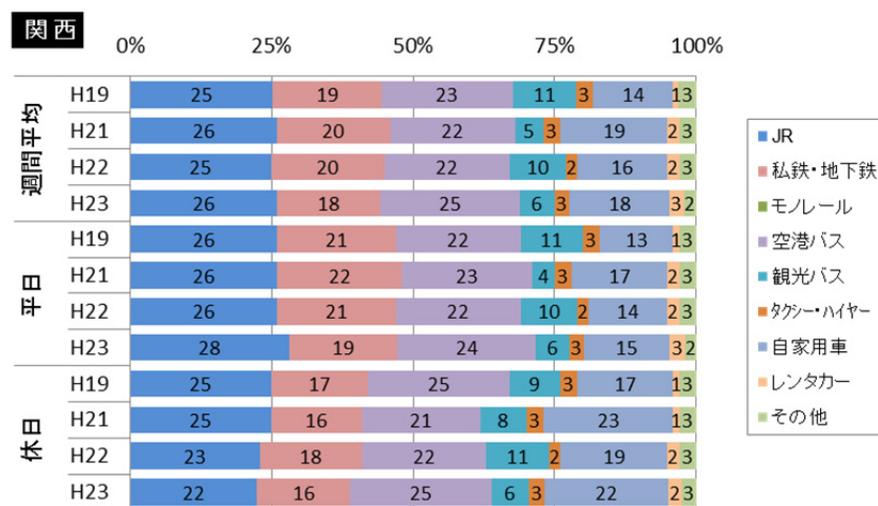


図-20 利用交通手段の構成比（関西空港）

viii) 神戸空港

平成 23 年度の神戸空港の利用交通手段（週間平均）は、モノレールの利用が 46%、自家用車の利用が 37% と他の利用交通手段と比べて大きくなっており、特に自家用車の利用割合は、関西三空港の中で最も高いのが特徴である。

平日と休日を比較すると、休日は平日に比べて自家用車の利用比率が 8% 程度高いのに比べて、モノレールの利用比率が 10% 程度低い傾向にある。

経年的にみると、平日・休日ともに自家用車の利用が増加する一方、モノレールの利用は減少傾向となっている。

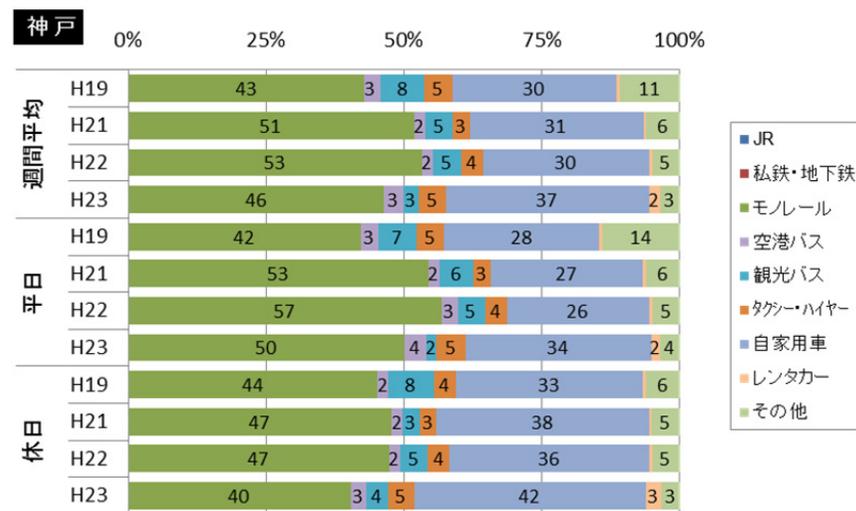


図-21 利用交通手段の構成比（神戸空港）

ix) 福岡空港

平成23年度の福岡空港の利用交通手段（週間平均）は、私鉄・地下鉄の利用が51%と最も多く、次いで自家用車の20%となっている。

平日と休日を比較すると、休日は平日と比べ自家用車の割合が高くなる一方（平日17%、休日24%）、私鉄・地下鉄の利用割合（平日54%、休日45%）は低下している。

経年的傾向を4回分の調査結果で比較して見ると、構成比に大きな変化は見られない。

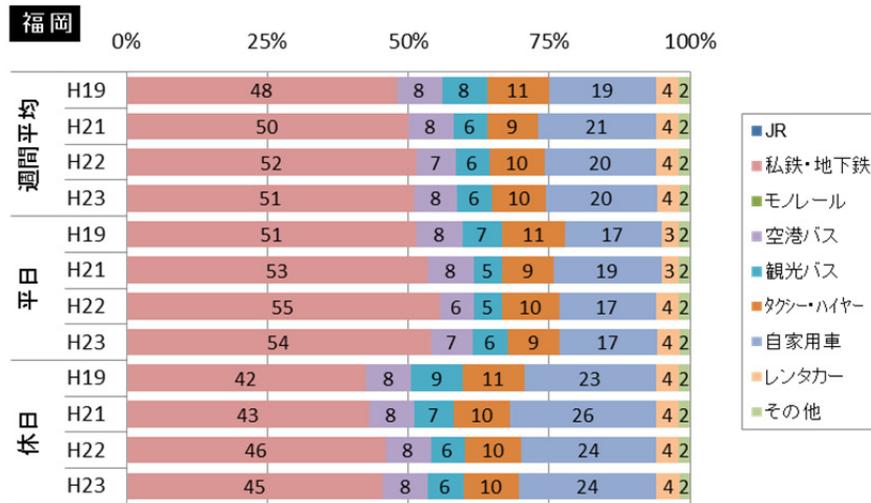


図-22 利用交通手段の構成比（福岡空港）

x) 宮崎空港

平成23年度の宮崎空港の利用交通手段（週間平均）は、自家用車の利用が43%を占めており、宮崎空港の主要な利用交通手段となっている。これは、平成23年度調査において特異な割合を示す仙台空港を除く10空港において、軌道系交通の乗り入れがある状況で最大の利用率となっている。

平日と休日を比較すると、休日は自家用車の利用割合が高くなる一方（平日39%、休日52%）、JRの利用割合（平日25%、休日19%）は低下している。

経年的にみると、JRの利用が僅かに増加し、観光バスの利用は減少傾向を示している。

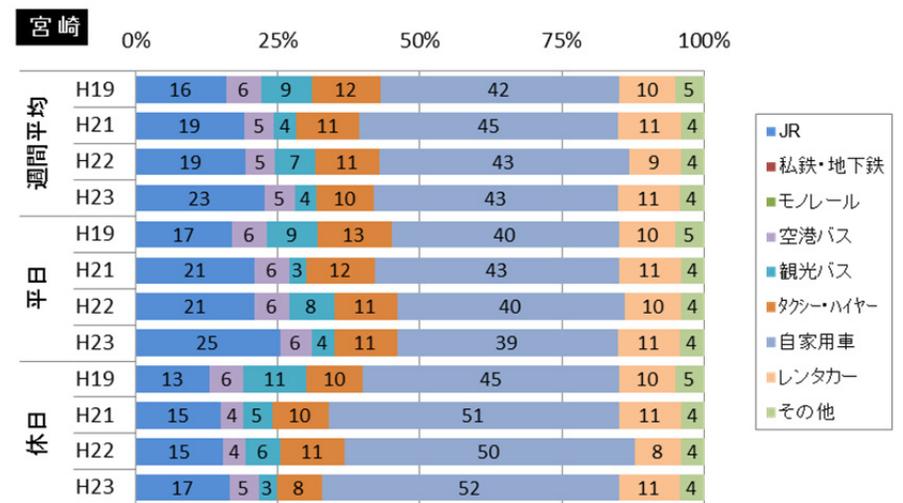


図-23 利用交通手段の構成比（宮崎空港）

xi) 那覇空港

平成23年度の那覇空港の利用交通手段（週間平均）は、自家用車とレンタカーの利用が共に26%と最も多く、次いで、モノレールの17%、タクシー・ハイヤーの14%となっている。

平日と休日を比較すると、交通手段の構成に大きな違いは見られないものの、休日はレンタカーと観光バスの比率が僅かに増加している。

経年的な変化としては、モノレールの利用率が17%前後で平日、休日ともに推移しているほか、平成21年度に最大となったレンタカー利用率は、平成22年度には減少したが、平成23年度調査では8%程度増加し、平成21年度の割合に近づいている。

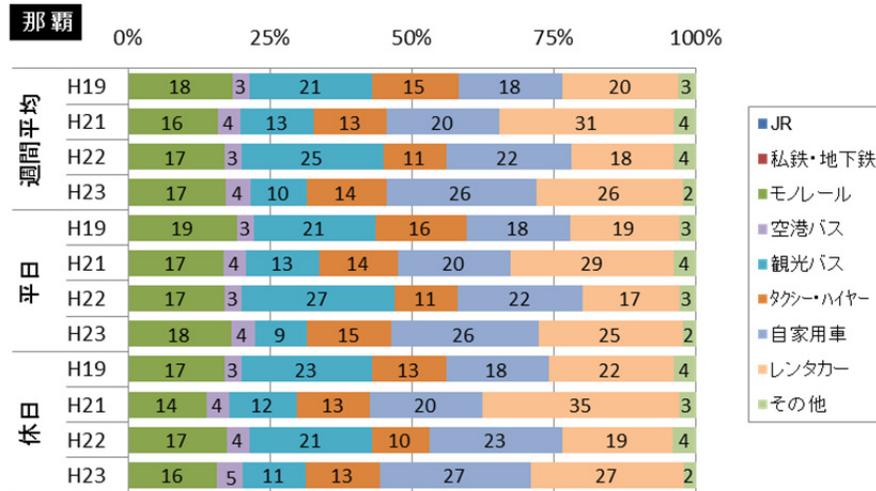


図-24 利用交通手段の構成比（那覇空港）

③ 航空機の出発時間帯別における旅客特性

平成 21 年度調査より、調査票に対象となった便名の記録欄を設けたことから、この情報に基づき出発時間帯のデータ分析が可能となっている。ここでは出発時間帯のデータを活用し、時間帯によって変化することが予想される以下の項目について集計を行った。

時間帯の旅客特性に係る集計項目

- | | | | |
|---------|----------|------------|----------------|
| i) 性別 | ii) 職業 | iii) 年齢 | iv) 年収 |
| v) 旅行目的 | vi) 旅行日数 | vii) 利用航空券 | viii) 最終アクセス手段 |

集計項目のうち、旅客特性の集計と同様に年齢・年収・旅行日数については、時間帯別の平均値を算出した。なお、集計している値は週間平均の値を利用しており、時間帯データは時刻表に記載されている航空便の出発時間となっている。集計に際し、不明の回答は分析から外しているため、項目により時間帯の回答者数が異なっている。

なお、時間帯区分については、朝（7～8時台）、昼前（9～11時台）、昼過ぎ（12～14時台）、夕方（15～17時台）、夜（18～20時台）、便数の少ない夜間及び早朝（～6時台、21時～）の6つの区分を設定して集計を行った。

i) 性別

出発時間帯別に性別の構成比(全時間帯平均:男性 64%、女性 36%)をみると、全時間帯を通して男女比に変化は起きていない結果が見られる。なお、男性は昼前の時間帯が最も多くなり、女性では夜間及び早朝の時間帯が多くなっている。

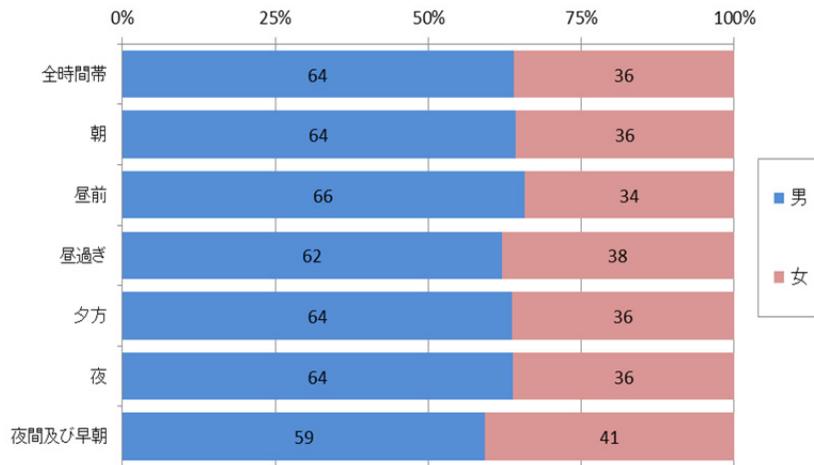


図-25 性別 (時間帯別・週間平均)

ii) 職業

出発時間帯別に職業(全時間帯平均:会社役員 12%、会社員 46%、公務員 7%、農業・漁業 1%、商工・自営業 4%、自由業 3%、学生・生徒 5%)をみると、いずれの時間帯においても会社員の割合が高く、特に夕方から夜、夜間および早朝になるにつれ比率が高くなっていく。また、農業・漁業、商工・自営業、自由業、学生・生徒の各職業はどの時間帯においても一定の比率を保っている。また、会社役員、公務員、無職・その他は夕方から夜間及び早朝の時間帯にかけて比率が低くなる傾向を示すなど、職業と時間帯によって異なる傾向を示している。



図-26 職業 (時間帯別・週間平均)

iii) 年齢

出発時間帯別に年齢(全時間帯平均:20歳未満 5%、20歳代 11%、30歳代 19%、40歳代 22%、50歳代 22%、60歳代 16%、70歳以上 6%)をみると、朝から夕方時間帯においては、年齢構成比に大きな変化は起きていないことがわかる。しかし、夜や夜間及び早朝の時間帯では、50歳以上の年代で平均値よりも低い構成比となる一方で、20~40歳代の各層の構成比は増加している。

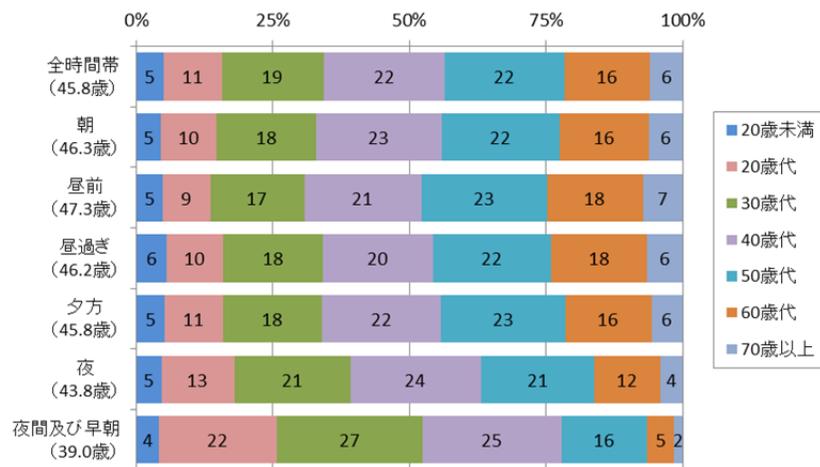


図-27 年齢 (時間帯別・週間平均)

iv) 年収

出発時間帯別に年収(全時間帯平均:なし 13%、200万円未満 11%、200~400万円未満 18%、400~700万円未満 24%、700~1000万円未満 16%、1000万円以上 18%)をみると、時間帯別の年収構成比率に大きな変化は起きていないものの、昼過ぎに収入なしの割合が最大となる一方で、夜の時間帯の平均年収が最も大きくなるなど、時間帯ごとに細かな変化が発生している。

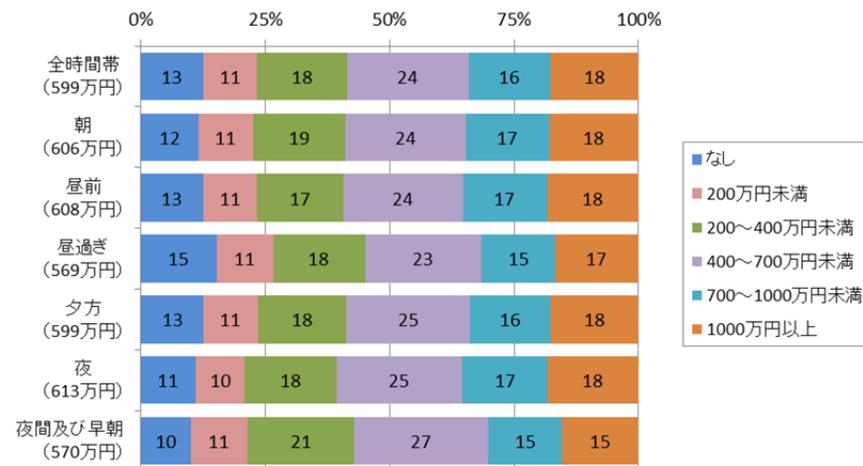


図-28 年収 (時間帯別・週間平均)

v) 旅行目的

出発時間帯別に旅行目的（全時間帯平均：仕事 47%、観光 29%、私用 19%、その他 5%）をみると、仕事目的は朝や昼前の時間帯や夜に多く、観光目的では朝の時間帯や夜間及び早朝の時間帯での割合がそれぞれ高くなっており、時間帯により旅行目的の構成比が異なっている。また、昼や夜間及び早朝の時間帯では、私用目的の比率が高くなっている。

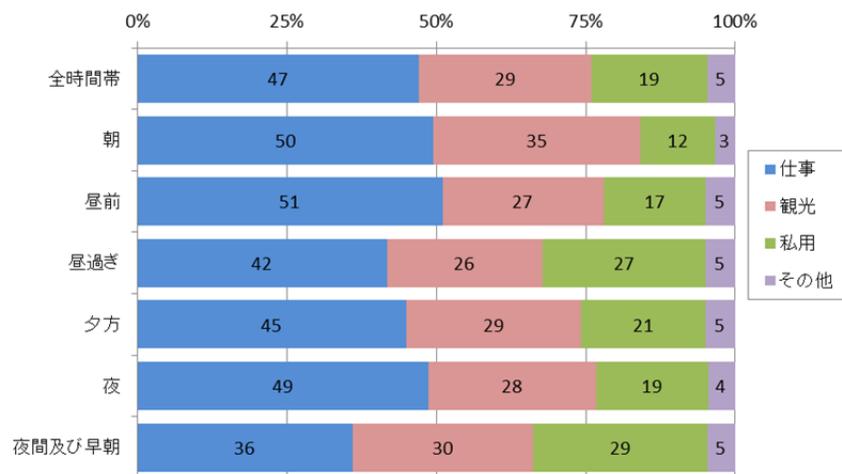


図-29 旅行目的（時間帯別・週間平均）

vi) 旅行日数

出発時間帯別の平均旅行日数（全時間帯平均：2.9日）は、昼過ぎの時間帯の3.2日が最も長く、夜が2.7日で最も短い時間帯となっている。

旅行日数の違いによる特徴としては、日帰り旅客の比率が朝の時間帯をピークとして、昼時間帯で最も低くなる一方、3泊4日では、昼時間帯をピークとした山なりの構成比になっており、旅行日数の増加と共に、昼間時間帯での利用が増加する傾向がみられる。

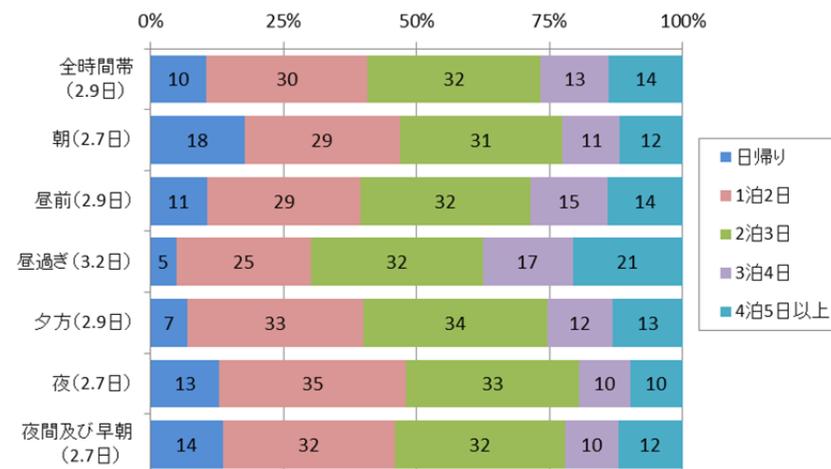


図-30 旅行日数（時間帯別・週間平均）

vii) 利用航空券の種類

出発時間帯別に利用航空券（全時間帯平均：普通 19%、往復 16%、回数券 2%、マイレージ 5%、乗継ぎ割引 1%、団体・パック 25% その他割引 32%）をみると、普通運賃や団体・パックの回答者比率は、全時間帯を通じて大きな変動をしていない。一方で、夜間及び早朝の時間帯では往復割引による利用が減少し、その他割引が増加している。

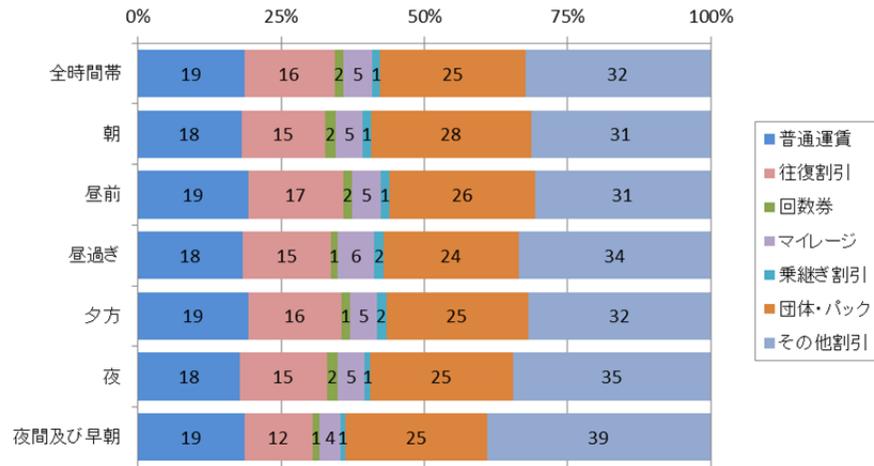


図-31 利用航空券（時間帯別・週間平均）

viii) 最終アクセス手段

空港への最終アクセス手段（全時間帯平均：JR 5%、私鉄・地下鉄 15%、モノレール 13%、空港バス 19%、観光バス 5%、タクシー・ハイヤー 6%、自家用車等 28%、レンタカー 6%）をみると、時間の経過とともにレンタカー利用が増加するが、自家用車等の割合が減少する。一方で、夜の時間帯で JR の利用が増加したことにより、軌道交通の割合が増加するのは、この時間帯の出発便の多くを羽田空港や関西空港、福岡空港が占めるためである。

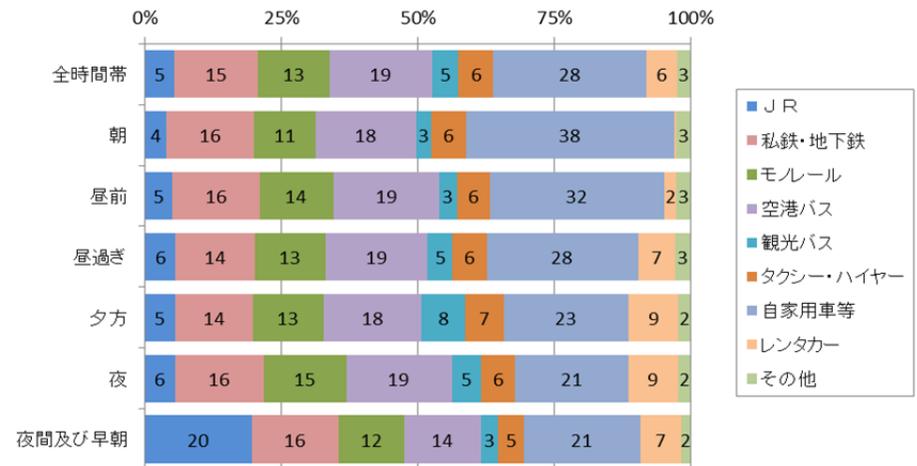


図-32 最終アクセス手段（時間帯別・週間平均）

④ 東日本大震災に関わる東北地方の旅客状況（仙台空港の利用率、アクセス・イグレス状況）

平成23年3月に発生した東日本大震災で被災した東北圏の空港で、特に被害の大きかった仙台空港に焦点を当て、震災による影響や平成19・21・22・23年度の集計データを利用した仙台空港の利用状況（勢力圏、旅客特性）に関する分析を行った。なお、航空旅客動態調査で把握可能な旅客動向は、“回収した調査票”を基に把握するため、本分析は“回答者”の動向に関して分析を行ったものであることに留意する必要がある。

i) 震災による東北圏各空港の被害状況と復興状況

国交省の資料による被害状況と復興状況、および復興計画は以下のとおりである。

表-7 東北圏各空港の被害状況と復興状況

空港名	被害状況	空港としての機能(会社・路線・利用地域)	復旧状況・事業計画	復興関係_事業計画
三沢	—	・18時50分に運用を再開した。	—	・庁舎の耐震化を実施し、地震発生時における空港の機能を確保する。
花巻	・空港ターミナルビルの2階天井が落下する被害を受ける。 ・空港が閉鎖されたことに伴い民間定期便が休止されたが、各県の防災ヘリが使用する。	・旅客の対応が当面不可能として定期便の運航を停止し、緊急輸送のみを対象に3月11日18時50分から運用を再開した。 ・17日にターミナルビルの営業を再開した。	—	・庁舎・管制塔の耐震化を実施し、地震発生時における空港の機能を確保する。
仙台	・滑走路が津波で冠水し、空港ターミナルビルも大きな被害を受けたため、離着陸を停止した。 ・津波により1階は完全に水没し、助けを待っていた約1,200人が孤立していたが、13日にほぼ全員が救出された。 ・ターミナルビルの他、空港設備・作業車両等も大きな被害を受け、津波により空港に駐機、及び地上施設内で整備中の航空機がほぼ全滅する被害を受けた。これらの被害機の中には海上保安庁の第二管区海上保安本部仙台空港基地所属の航空機が多数含まれている。 ・仙台空港へ押し寄せた津波により仙台空港鉄道仙台空港線の仙台空港駅も甚大な被害を受けた。	・4月13日から国内線の一部で1ヶ月ぶりに運航を再開 ・7月25日に約4カ月半ぶりに国内線定期便の運航を再開 ・9月25日には空港ビルも完全復旧し、国際線定期便の運航が再開された。 ・10月1日空港アクセス鉄道全線運用再開。 ・仙台空港の機能回復のため国土交通省では、排水路等の障害物の除去による自然排水の促進のほか、国土交通省が全国に配備している排水ポンプ車25台を集め、3月20日より広範囲の浸水解消を重点的、機動的に実施した。	・平成23年9月25日に、旅客ターミナルビルの本格復旧が完了するとともに、10月1日には空港アクセス鉄道についても全線で運転が再開し、空港機能は概ね復旧が完了した。 ・一般の震災により発生した地盤沈下によって損なわれた排水機能の復旧など、その他のインフラ施設については、引き続き、順次復旧を実施。	・空港施設の耐震化を実施するとともに、津波による被害から早期復旧するための対策の検討等を行い、地震発生及び津波襲来による被災時に最低限必要な空港機能を確保する。
山形	・停電で運用を停止していたが、3月12日4時から運用を再開し、 臨時的に24時間運用を開始 した。	・花巻空港はまもなく運用が再開されたが、 仙台空港の閉鎖が続いた事 に加え、震災直後から首都圏と宮城・岩手間の鉄道網(東北新幹線およびJR東北線)と東北自動車道が5日以上不通となった事情も加わり、定期便の運航がある当空港に旅客が集中し(宮城県から9割)、 旅客数は震災発生前の10倍以上 となった。 ・このため、需要減により路線削減や就航撤退をしていた日本航空と全日本空輸が 臨時便を設定し、遠隔地間の旅客・民間貨物輸送に務めている 。同様の対応は福島空港においても実施された。	—	—
福島	・タワーのガラスが全壊したものの運用可能であったため、 閉鎖された仙台空港の代替として関西や札幌と結ぶ臨時便を運航 することになった。	・このため、需要減により路線削減や就航撤退をしていた日本航空と全日本空輸が 臨時便を設定し、遠隔地間の旅客・民間貨物輸送に務めている 。同様の対応は福島空港においても実施された。	—	・庁舎・管制塔の耐震化を実施し、地震発生時における空港の機能を確保する。
茨城	・ターミナルビルの天井の一部が落下。 ・3月12日には空港を閉鎖し、全ての便が欠航になった。	・14日から定期便の発着を再開。	—	—

ii) 仙台空港の県別利用状況の変化

各年度の調査データの中から、東北圏における出発空港または目的空港が仙台空港のデータを抽出し、仙台空港利用者の出発地、目的地の分布状況を集計した。

県別に分布状況を週間平均で見ると、宮城県からの利用者が50%以上と最も高く、次いで山形県が13%、福島県が12%となっている。

平日と休日を比べても、同様の傾向を示している。

経年的にみると、宮城県に次いで隣県である山形県の利用者が多く、その他の県は10%以下の利用割合であったが、平成23年度調査では、岩手県、福島県が10%を超える利用となっている。

なお、仙台空港の利用者数は減少傾向を示している。

表-8 東北各県別、年度別利用状況

平成23年度

県	調査サンプル数			構成比		
	平日	休日	週間平均	平日	休日	週間
青森県	116	82	106	6%	4%	6%
岩手県	177	239	195	10%	11%	10%
宮城県	1,094	1,088	1,092	59%	52%	57%
秋田県	53	23	44	3%	1%	2%
山形県	217	351	255	12%	17%	13%
福島県	197	309	229	11%	15%	12%
合計	1,854	2,092	1,922	100%	100%	100%

平成22年度

県	調査サンプル数			構成比		
	平日	休日	週間平均	平日	休日	週間
青森県	103	95	101	5%	3%	4%
岩手県	125	250	161	6%	8%	7%
宮城県	1,398	2,001	1,570	67%	65%	66%
秋田県	53	23	44	3%	1%	2%
山形県	262	367	292	12%	12%	12%
福島県	161	365	219	8%	12%	9%
合計	2,102	3,101	2,387	100%	100%	100%

平成21年度

県	調査サンプル数			構成比		
	平日	休日	週間平均	平日	休日	週間
青森県	117	88	109	4%	2%	3%
岩手県	274	293	279	9%	8%	9%
宮城県	2,051	2,337	2,133	68%	64%	66%
秋田県	53	23	44	2%	1%	1%
山形県	320	551	386	11%	15%	12%
福島県	218	385	266	7%	10%	8%
合計	3,033	3,677	3,217	100%	100%	100%

平成19年度

県	調査サンプル数			構成比		
	平日	休日	週間平均	平日	休日	週間
青森県	108	76	99	3%	2%	2%
岩手県	313	337	320	8%	8%	8%
宮城県	2,653	2,471	2,601	66%	61%	64%
秋田県	53	23	44	1%	1%	1%
山形県	697	717	703	17%	18%	17%
福島県	214	408	269	5%	10%	7%
合計	4,038	4,032	4,036	100%	100%	100%

iii) 仙台空港利用者における地域別入込状況の変化

仙台空港利用者の利用者構成比を算出し、各年度地域別に利用分布図を作成した。

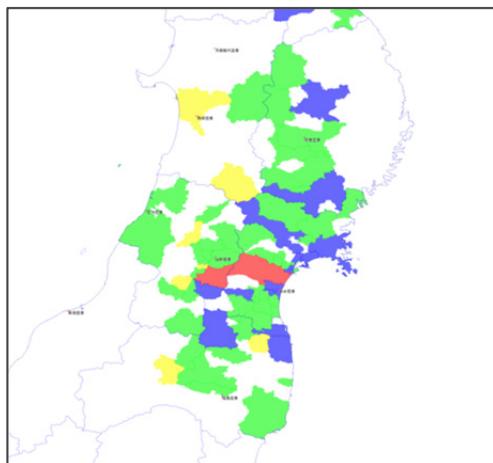


図-33 利用分布図（平成19年度）

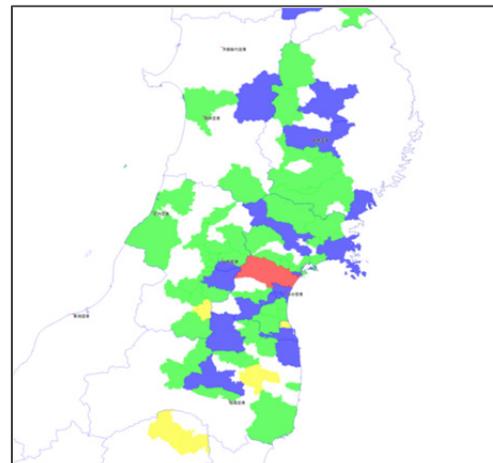


図-35 利用分布図（平成22年度）

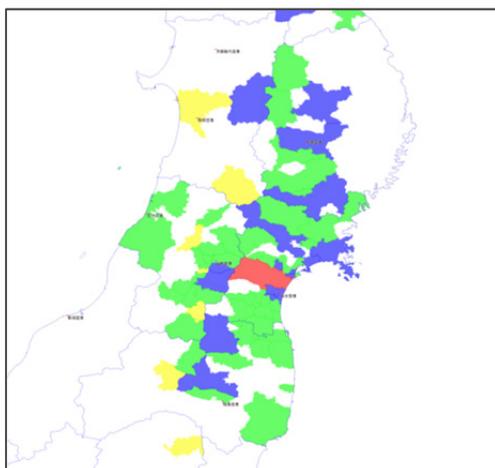


図-34 利用分布図（平成21年度）

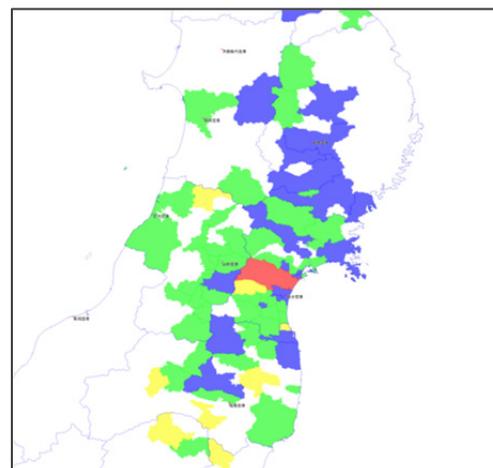
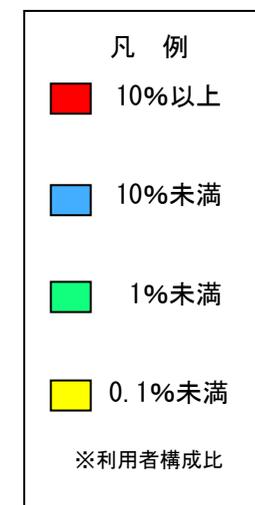


図-36 利用分布図（平成23年度）



利用分布図を経年的にみると、平成23年度は岩手県南部の利用者が増加している。

利用者構成比の高い地域順に見ると、仙台市、山形市は例年高く、平成23年度では、宮城県気仙沼市、福島県福島市、岩手県花巻市・北上市・一関市・奥州市が高くなっている。

表-9 年度別利用地域順位表

順位	県	市郡	区町村	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成19年度	
				サンプル数 週間	構成比 週間	サンプル数 週間	構成比 週間	サンプル数 週間	構成比 週間	サンプル数 週間	構成比 週間
1	宮城県	仙台市		476	25%	856	36%	1,367	42%	1,465	36%
2	山形県	山形市		98	5%	99	4%	171	5%	445	11%
3	宮城県	気仙沼市		89	5%	89	4%	19	1%	14	0%
4	福島県	福島市		81	4%	62	3%	105	3%	95	2%
5	青森県	十和田市		78	4%	78	3%	78	2%	78	2%
6	岩手県	盛岡市		60	3%	39	2%	124	4%	135	3%
7	宮城県	名取市		59	3%	102	4%	72	2%	95	2%
8		石巻市		59	3%	42	2%	77	2%	169	4%
9		大崎市		54	3%	60	3%	77	2%	102	3%
10	秋田県	仙北市		38	2%	38	2%	38	1%	38	1%
11	福島県	郡山市		33	2%	27	1%	41	1%	17	0%
12	宮城県	多賀城市		32	2%	36	2%	40	1%	64	2%
13	岩手県	花巻市		31	2%	31	1%	47	1%	38	1%
14	宮城県	岩沼市		27	1%	57	2%	63	2%	63	2%
15		黒川郡	富谷町	26	1%	16	1%	35	1%	24	1%
16		塩竈市		26	1%	22	1%	39	1%	47	1%
17	福島県	相馬市		26	1%	32	1%	19	1%	47	1%
18	宮城県	柴田郡	大河原町	26	1%	29	1%	9	0%	17	0%
19	岩手県	北上市		24	1%	13	1%	13	0%	31	1%
20	福島県	南相馬市		22	1%	29	1%	29	1%	48	1%
21	岩手県	一関市		20	1%	22	1%	33	1%	45	1%
22	岩手県	奥州市		20	1%	16	1%	23	1%	30	1%
	その他			517	27%	590	25%	697	22%	930	23%
	合計			1,922	100%	2,387	100%	3,217	100%	4,036	100%

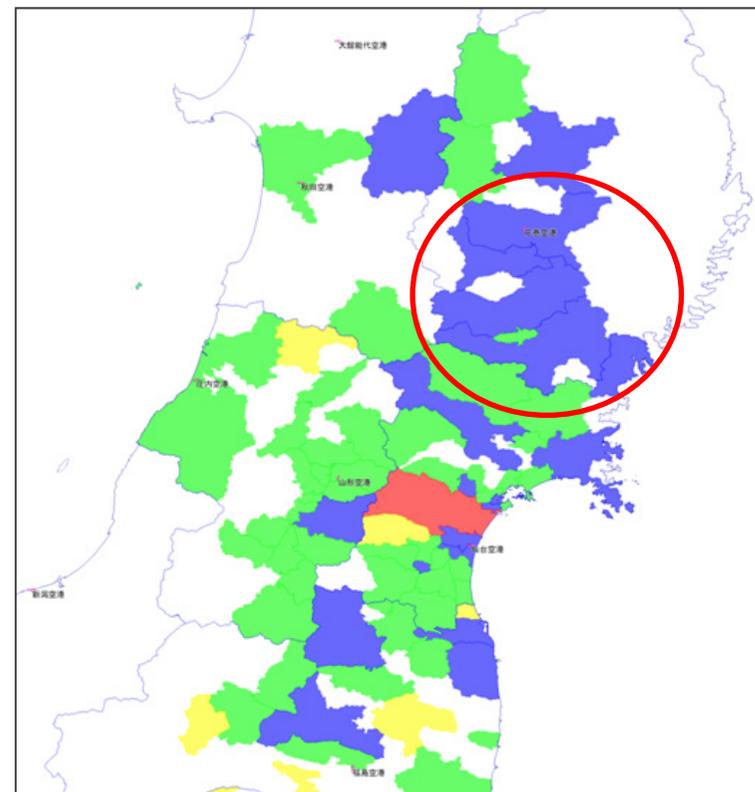


図-37 利用分布図（平成23年度_拡大図）

iv) 仙台空港の旅客特性の変化

【職業】

仙台空港を利用した回答者の職業構成（週間平均）は、会社員の割合が49%で最も高く、次いで、無職・その他が18%となっている。

平日と休日の比較でも、会社員は平日・休日ともに高く（平日51%、休日46%）、構成比に大きな変化はない。

経年的にみると、平成23年度は会社員と会社役員の割合が大きく増加した一方で、無職・その他の割合が減少する結果となっている。



図-38 職業（仙台空港）

【年齢】

仙台空港を利用した回答者の年齢（週間平均）は40歳代が24%で最も高く、次いで50歳代が23%、30歳代が19%となっている。

平日と休日の比較でも、構成比に大きな変化は見られない。

経年的にみると、40歳代の利用者が増加傾向を示す一方で、60歳代は減少傾向を示している。



図-39 年齢（仙台空港）

【旅行目的】

仙台空港を利用した回答者の旅行目的（週間平均）は、仕事の割合が53%、で最も高く、次いで観光が27%となっている。

平日と休日では旅行目的の傾向が異なり、平日では仕事目的の割合が63%と高い一方で、休日には観光目的、私用目的の割合が多くなっている。

経年的にみると、平成23年度は仕事目的の割合が大きく増加する一方で、観光目的での利用が減少する結果となっている。

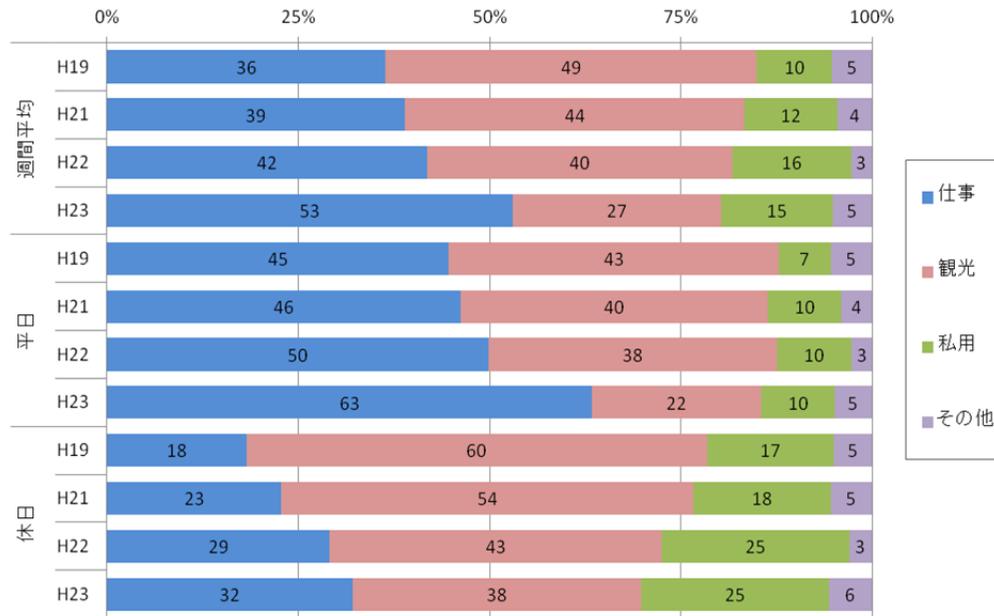


図-40 旅行目的（仙台空港）